

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		外間 昭	所 属	第一内科	職 名	講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果	
教育	0.10	系統講義、ポリクリ学生への腹部X線読影指導、研修医への診療指導、内視鏡担当医への技術指導を行う。		0.10	系統講義、ポリクリ学生への内視鏡読影指導、研修医への診療指導、内視鏡担当医への技術指導を行った。	
研究	0.25	英文原著 1報、英文総説 1報、英文症例報告・短報 3報の採択及び科研費の採択を目指す。		0.25	英文原著 1報、英文症例報告・短報 2報の採択を達成した。	
社会貢献	0.05	欧米学会雑誌から依頼される論文の査読を行う。		0.05	欧米学会雑誌から依頼された論文20編の査読を行った。	
管理運営	0.00			0.00		
進路指導	0.10	大学院生の指導を行い、年度内の学位論文の採択と学位取得を目指す。		0.10	大学院生1名の指導を行い、年度内の学位論文の採択と学位取得を達成した。	
診療	0.50	外来診療(週1日)、内視鏡検査(週3日)と入院患者回診を継続する。		0.50	外来診療(週1日)、内視鏡検査(週3日)と入院患者回診・往診を継続した。	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		比嘉 太	所 属		第一内科	職 名		講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果		
教育	0.30	学部講義(感染症系1枠、呼吸器系2枠)を担当し、配布資料およびスライドを適切に準備した判りやすい講義を行う。臨床実習において、PBLに準拠した講義を行う。BPEおよびOSCEを担当して、学生に臨床実技の基本しっかりと習得させる。呼吸器系および感染症経の診療および検査に関して実地に適切な指導を行う。			0.30	学部講義(感染症系2枠、呼吸器系2枠)を担当し、配布資料およびスライドを適切に準備した。動画を利用して判りやすい講義を行った。臨床実習においてPBLに準拠した講義を行った。BPEおよびOSCEを担当した。呼吸器疾患および感染症経の診療および検査に関して実地に適切な指導を行った。		
研究	0.35	呼吸器内科学、感染症学に関する基礎研究および臨床研究の計画・実施・遂行を行い、これを学術誌に報告掲載する。大学院生(博士課程)の研究計画・実施・遂行について指導を行う。附属病院医員などによる臨床研究の遂行および学術論文の作成・投稿・掲載について指導する。日本学術振興会およびその他の競争的研究資金公募に積極的に応募し、研究資金を確保する。			0.20	呼吸器内科学、感染症学に関する基礎研究および臨床研究の計画・実施・遂行を行い、そのうち、peer reviewのある英文誌に2編掲載した。大学院生(博士課程)の研究計画・実施・遂行について指導を行ったが十分な成果がまだ得られていない。附属病院医員などによる臨床研究について指導したが、論文掲載に至っていない。日本学術振興会に応募したが、評価が上位25%に判定されたが、資金獲得には至らなかった。		
社会貢献	0.20	主に附属病院での外来および入院診療を行い、地域住民の健康維持に貢献する。沖縄県南部保健所感染症審議会 委員長(平成24年度～)を担当し、地域の感染対策に貢献する。以下の役職を担当することにより社会貢献を行う。:琉球大学附属小中学校結核対策委員(平成23年度～)日本感染症学会(評議員、院内感染相談員)日本化学療法学会(評議員)、日本呼吸器学会(代議員)、日本環境感染学会(評議員)			0.40	附属病院で月曜および金曜の外来を担当し、初診患者および入院患者コンサルトに多数対応した。感染対策室員として附属病院感染対策に従事した。沖縄県南部保健所感染症審議会委員長(平成24年度～)として、地域の感染症対策に尽力した。日本感染症学会(評議員、院内感染相談員)日本化学療法学会(評議員)、日本呼吸器学会(代議員、肺炎診療ガイドライン作成委員)、日本環境感染学会(評議員)として学術的活動を通して社会貢献を行った。		
管理運営	0.12	以下の職責をしっかりと実施する: 第一内科外来医長、附属病院感染対策室員、感染対策委員会委員、保険診療専門部会委員、薬剤安全管理委員会委員			0.08	以下の職責を実行し、それぞれの委員会などに確実に出席した: 第一内科外来医長、附属病院感染対策室員、感染対策委員会委員、保険診療専門部会委員、薬剤安全管理委員会委員		
進路指導	0.03	学部学生、大学院生、研修医などに対する個別の相談にしっかりと対応する。大学病院における初期臨床研修および後期専門研修の意義を指導する。			0.02	大学院生、研修医、後期研修医、などの個別の相談にしっかりと対応した。大学病院における後期専門研修の意義を指導した。		
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠を広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		池間 朋己	所 属		第二内科	職 名		講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果		
教育	0.10	系統講義・臨床実習で指導を行う。			0.10	系統講義で2コマ講義を行い、試験問題を作成した。M4学生にTBL講義担当。OSCEの評価者、BPEにて頭頸部の診察の指導を行った。大学入試センター試験の試験監督を勇行った。		
研究	0.25	論文作成・学会発表を行う。			0.15	論文作成はできなかった。学会は内分泌九州地方会の座長を務めた。糖尿病九州地方会の事務局長を務めた。		
社会貢献	0.05	小児糖尿病サマーキャンプの運営 糖尿病週間への参加			0.05	小児糖尿病サマーキャンプの運営、参加した。糖尿病九州地方会県民公開講座の総合司会を行った。		
管理運営	0.20	教室の運営・管理 各種院内会議への出席			0.10	教室では医局長アドバイザー、病院ではX線骨密度測定装置の使用策定委員、次期病院情報管理システム仕様作成ワーキンググループメンバー、透析予防指導管理料に関する会議(1回/月)に参加。		
診療	0.40	患者の外来・病棟診療・後輩医師への診療指導 学校医としての診療			0.60	週3回の外来診療、他科入院中患者の血糖コントロールを主とした診療を行った。		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		仲村英昭	所 属		医学部附属病院第二内科	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果		
教育	0.10	学生対象の講義、初期研修医対象のレクチャーを行う。			0.15	学生対象の講義、初期研修医対象のレクチャーは前年度より増加した。スケジュール通り実行できた。		
研究	0.15	生活習慣病を予防・改善する沖縄県高機能米開発(難消化米プロジェクト)に積極的に関与する。			0.10	沖縄県高機能米開発(難消化米プロジェクト)に関与したが、十分とはいえなかった。		
社会 貢献	0.20	県医師会や学会における発表、糖尿病サマーキャンプにおける活動に取り組む。また、平成25年11月に予定している糖尿病学会九州地方会の企画・実施に積極的に関与する。			0.20	学会発表、糖尿病サマーキャンプにおける活動、および平成25年11月の糖尿病学会九州地方会の企画・実施に関与し、スケジュール通り実行できた。		
管理 運営	0.10	院内・学内の各種委員会における職責を全うする。			0.10	概ねスケジュール通りに行うことができた。		
進路 指導	0.05	学生、初期研修医に対し、内科医としての知識や心構えなどを伝えていく。			0.05	概ねスケジュール通りに行うことができた。		
臨床	0.40	入院患者、および外来患者の治療に積極的に取り組む。			0.40	外来患者の診療に携わる機会は前年度より増加し、積極的に取り組むことができた。		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)								
名 前		中山良朗	所 属		医学部付属病院第二内科	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果			
教育	0.10	学生、初期研修医を対象としたレクチャーを行う。		0.10	概ね実行できた。			
研究	0.10	研究活動に目的意識、目標を持って積極的に取り組む。		0.10	取り組んだが、まだまだ不十分である。			
社会貢献	0.20	県医師会や学会における発表や、糖尿病サマーキャンプにおける活動に取り組む。		0.20	積極的に参加できた。			
管理運営	0.10	院内・学内の各種委員会における職責を全うする。		0.10	実行できた。			
進路指導	0.05	学生、研修医に対し、内科医としての知識や心構えなどを伝えていく。		0.05	十分指導できた。			
臨床	0.45	入院患者、および外来患者の治療に積極的に取り組む。		0.45	積極的に取り組めた。			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		砂川 澄人	所 属		琉球大学医学部内分泌代謝・血液・膠原病内科学講座(第二内科)
			職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果
教育	0.15	学生へ基礎講義及び病棟実習を通じた指導教育を行い知識定着を図る。		0.15	ポリクリ実習全グループに対して講義、総回診指導、外来指導を実施できた。
研究	0.10	臨床研究としてメタボローム解析を推進する。		0.20	2型糖尿病及び肥満患者からの採血を30検体、及び健常者の採血を9検体実施した。それぞれ検体処理を行い共同研究者である沖縄科学技術大学院大学のユニットへ送り解析を実施した。
社会 貢献	0.15	啓蒙活動として糖尿病週間の講演会や健康相談などのイベントを行う。 西日本肥満研究会の副事務局長として運営に関わる。 小児糖尿病のサマーキャンプに参加する。		0.10	西日本肥満研究会の副事務局長として運営に関わったこと、また第51回日本糖尿病学会九州地方会の運営に関わり、それぞれ市民講座などを通じて啓蒙活動に携わった。また小児糖尿病のサマーキャンプに参加し啓蒙につとめた。
管理 運営	0.10	リスクマネージャー、及び臨床研修医の第二内科チューターとして運営に関わる。		0.10	第二内科病棟のリスクマネージャーとして月1回の連絡会議に参加した。また病棟で発生する医療リスクの軽減のため医師や看護師と協力して対応した。臨床研修医のチューターとして初期研修の教育・センター運営に協力した。
進路 指導	0.10	大学院生の研究テーマの相談及び指導を行う。 学生の学問的な興味を確認し適宜進路指導を行う。		0.10	大学院生の研究テーマについて定期的に意見を交換した。また学生に対し適宜進路指導を行った。
診療	0.40	第二内科病棟の患者の診療、及び外来での専門外来診療に携わる。		0.35	第二内科病棟、及び内科外来にて内分泌・代謝・膠原病疾患の患者に対し診療に携わった。
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		古波蔵健太郎	所 属		第三内科
			職 名		講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果
教育	0.20	授業内容の改善、PBLに沿った研修医教育スキルの向上、医員に対する専門医教育の充実（系統だったカリキュラムの整備、教育手法の確立）と臨床研究指導、大学院生の研究指導、腎臓学会、九州学校健診協議会での教育講演		0.20	授業で使用する資料の見直し、医員に対する専門医教育のための資料作成、ミニレクチャー、最新の情報提供などを行った。腎グループで腎臓病の主要な欧米テキストの輪読会をはじめた。2人の大学院生の研究を指導しそれぞれ国際学会誌にアクセプトされた。学会や県内の講演会を通じて専門領域の教育を行った。
研究	0.30	IgA腎症の臨床研究、慢性腎臓病、心血管病、メタボリック症候群の相互連関に関して高尿酸血症、C3、細動脈症に着目した臨床研究、RAの心血管病、腎障害進展因子に関する臨床研究、ロサルタンと利尿薬の併用に関する前向き研究などを進める。その他、臨床研究の論文投稿を進めていく。当施設の症例を登録してコホートをつくる。		0.30	IgA腎症の前向きスタディの解析を開始した。1)腎細動脈と尿酸との関連、2)高TGとC3高値合併の蛋白尿、腎細動脈病変への影響、3) CKDにおける内皮機能と腎小動脈病変の相互関連と炎症の関与 4) 進行期SHRSPに対する抗酸化治療 に関する論文がアクセプトされた。3つの総説を若手医員を指導して書いた。
社会貢献	0.10	地区医師会、栄養士会、企業の保健士、地域住民むけの講演会を行う。総合保健協会や大学保健管理センターと連携して健診システムのなかで検尿及び腎機能に関して効果的な運用をサポートする。		0.10	地区医師会や企業主催の講演会、糖尿病医対象のセミナーで講演を行った。慢性腎臓病対策にかんする新たなシステム作りや検診システムの効果的な運用に関する連携に関しては十分進められなかった。
管理運営	0.20	腎グループの医員を統括し、グループ全体としての臨床および研究の目標設定およびその達成に向けて努力する。		0.20	定期的にチームとしての方向性を示し、さらに各医員の特徴を生かせるように個別に方向性を示してサポートした。臨床並びに研究面での進捗管理とサポートを行った。グループ内の人間関係の調整を図り、チームとして機能が発揮できるような環境作りを行った。
進路指導	0.00			0.00	
診療	0.20	腎グループの入院患者ならびに外来患者の診療を大学病院にふさわしいレベルで実践する		0.20	腎グループの入院患者ならびに外来患者の診療を各医員とともに深く掘りさげてきめ細かな診療をおこなった。
計	1.00			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		伊敷 哲也	所 属		第三内科
			職 名		助教
領域	業務 ウエイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウエイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果
教育	0.20	本年度からTBL教育を導入し、学生の学習意欲を高めながら自己学習による情報の収集能力と問題解決能力の習得をめざす。診察手技については、絶対的な実臨床での機会が不足しており、シュミレータ実習の充実をはかることで診察手技能力の向上をめざす。		0.20	TBL教育の導入後も運用面で十分実施出来なかったことが反省点である。診察能力や高度な専門的技術の獲得という点で、シュミレータを可能なかぎり導入することができた。今後も継続的に運用したい。
研究	0.10	「心臓リハビリテーションに関連した臨床研究」「心不全診療で使用される新規利尿薬に関する多施設共同研究」「超音波装置を使用した血管内皮機能検査の臨床応用に関する多施設共同研究」が進行中であり、さらに進める。さらに肺高血圧症、虚血性心疾患、慢性心不全に関する臨床研究を準備中。		0.10	ほぼすべての診療研究の登録が終了し現在フォローアップ段階であったり、解析中である。
社会貢献	0.10	最新の治療や研究に関する情報を各種情報媒体を利用して発信する。		0.10	学会、研究会等での発表を通じて情報を発信しているが、今後は臨床研究などの結果も順次発表していく。
管理運営	0.20	医療安全の面にも配慮しながら、医師の過重労働を減らし、医療の質を担保しながら、高度医療を提供するために診療体制の改革をすすめる。		0.20	十分な医療スタッフの確保と適切な配置を通じて安全面に対する配慮を行っているが追いついていないのが現状であり、新たな対応を検討中である。
診療	0.40	重症心不全患者の予後改善のために心臓リハビリテーション医を中心とした多職種連携(医師、看護師、薬剤師、栄養師、理学療法師)のさらなる充実をはかり、不整脈、虚血性心疾患インターベンション、睡眠呼吸障害など多面的でかつ高いレベルの医療を提供する体制づくりをめざす。		0.40	重症心不全患者に対するチーム医療を通じて新たな問題点も判明し、現在質の向上をめざして取り組んでいる。さらにペースメーカーやカテーテルアブレーション、人工心臓植え込み術、ASVなどによる集学的な治療実績も増えた。
				0.00	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウエイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	・ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		国仲 弘一	所 属		医学部附属病院 第一外科	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果		
教育	0.05	研修医への講義・実技指導。医学部学生、大学院生への講義。病棟実習生への指導・講義。			0.05	目標を全て達成できた。		
研究	0.10	乳がん・甲状腺疾患に関する研究。学会発表及び誌上発表。			0.10	乳がん、甲状腺疾患の両者に対して目標を達成できた。乳がんに関しては英文論文を発表した。		
社会貢献	0.05	地域での講演活動や研究会、患者会への出席。			0.05	乳がん、甲状腺疾患に関する講演や新聞紙上での啓蒙活動を行った。また、患者会にも参加した。		
管理運営	0.05	病院運営に関する各種会議への参加。			0.05	薬事審議会、レジメン委員会、リスクマネージャー会議、緩和ケア会議に参加し病院運営に貢献できた。		
進路指導	0.05	研修医、学生への進路指導。			0.05	達成できた。		
診療	0.70	乳がん・甲状腺疾患の診療			0.70	達成できた。		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		狩俣 弘幸	所 属		消化器・腫瘍外科学講座
			職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果
教育	0.15	医学部医学科の学生に対して:画像を取り入れた視覚に訴える講義を行う。講義の理解にカギとなる図表などは学生に配布する。シミュレーション器材を利用した外科手技実習を行う。		0.15	医学部医学科の学生に画像を取り入れた講義を行った。図表など講義内容をは学生に配布した。シミュレーション器材を利用して外科手技実習を指導した。
研究	0.15	他の教員と共同で、消化器外科学領域の研究成果を学会などで発表する。1編以上の論文を執筆し、発表する。		0.15	昨年投稿した論文がacceptされた。8学会で発表を行った。論文は1編執筆し、投稿中である。
社会貢献	0.10	医療行政に関連する行事に参加し、自らの専門知識によって地域医療に貢献する。		0.00	特に行っていない。
管理運営	0.10	医学部、医学部付属病院の各種委員会に参加して管理運営に貢献する。		0.20	各種委員会の会議に参加した。
進路指導	0.10	臨床実習でローテートしてくる学生に授業・実習の履修状況を聴取し、適切な指導を行う。卒後の進路について、学生自ら進路決定を適切に判断できるように助言を行う。		0.10	臨床実習でローテートしてくる学生に、実臨床、手術を通して実習の履修状況を聴取し、指導を行った。
診療	0.40	外来診療、入院患者の病棟管理、手術を行う。		0.40	外来診療、入院患者の病棟管理、手術を行った。
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		金城達也	所 属		第一外科
職 名				助教	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果
教育	0.20	医学部医学科の学生に対して:画像を取り入れた視覚に訴える講義を行う。講義の理解にカギとなる図表などは学生に配布する。シュミレーション器材を利用した外科手技実習を行う。		0.20	左記のとおりすべて実施した。
研究	0.20	他の教員と共同で、消化器外科学領域の研究成果を学会などで発表する。1編以上の論文を執筆し、発表する。競争的研究資金の獲得につとめる。		0.25	英文論文1編受理, 英文論文1編投稿中, 和文論文2編を若手医師に指導中. 科研費申請中.
社会貢献	0.05	医療行政に関連する行事に参加し、自らの専門知識によって地域医療に貢献する。		0.00	実施なし。
管理運営	0.05	医学部, 医学部付属病院の各種委員会に参加して管理運営に貢献する。		0.05	各種委員会に出席し, 議題について検討した。
進路指導	0.20	臨床実習でローテートしてくる学生に授業・実習の履修状況を聴取し, 適切な指導を行う。卒後の進路について学生自ら進路決定を適切に判断出来るように助言をおこなう		0.20	左記のとおりすべて実施した。
診療	0.30	入院患者診療, 外来患者診療, 手術, 内視鏡検査, レントゲン検査に従事する。		0.30	左記のとおり実施。
計	1.00			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		伊禮 靖苗	所 属		第一外科	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果			
教育	0.15	①医学部の学生に対して、講義を担当する。②5-6年生の臨床実習においてベッドサイドでの教育指導を行う。抄読会またはレポート作成の指導を行う。		0.20	①医学部の学生に対して、講義を担当する。②5-6年生の臨床実習においてベッドサイドでの教育指導を行う。抄読会またはレポート作成の指導を行う。実施できた			
研究	0.25	①主に消化器外科についての臨床研究成果をまとめ学会発表する。②論文を執筆する。		0.25	①主に消化器外科についての臨床研究成果をまとめ学会発表する。②論文を執筆する。論文執筆中である。			
社会貢献	0.10	①地域の病院で総合内科および消化器外科に関する技術を用いて地域医療に貢献する。②所属する学会で積極的に発表、講演会に参加し、外科学の進歩に貢献する。		0.10	①地域の病院で総合内科および消化器外科に関する技術を用いて地域医療に貢献する。②所属する学会で積極的に発表、講演会に参加し、外科学の進歩に貢献する。実施できた。			
管理運営	0.10	①医学部附属病院の各種委員会に参加し、管理運営に貢献する。		0.05	①医学部附属病院の各種委員会に参加し、管理運営に貢献する。主に代理出席であった			
進路指導	0.10	①研修医に対し、チューターとして仕事に関する日頃の悩みや、将来の進路の相談役となるよう努める。		0.10	①研修医に対し、チューターとして仕事に関する日頃の悩みや、将来の進路の相談役となるよう努める。実施に努めた			
診療	0.30	医学部附属病院で消化器外科における手術、検査、外来、病棟管理に従事する。中でも患者さん、家族によりわかりやすい説明を行うよう努める。		0.30	医学部附属病院で消化器外科における手術、検査、外来、病棟管理に従事する。中でも患者さん、家族によりわかりやすい説明を行うよう努める。実施できた			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。				

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		稲福 斉	所 属		第二外科
職 名				講師	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果
教育	0.20	1. 学生に対する講義(M2, M3); 心臓・大血管の奇形。重症心不全に対する補助人工心臓治療。2. 臨床実習学生に対する臨床実習指導(心臓手術における術前、術後管理、心臓カテーテル検査方法、レポート作成)。		0.20	1. 心臓・大血管の奇形(M2)、心不全の外科治療(M3)、重症心不全に対する補助人工心臓治療(M5)の講義を行い、総合試験問題作成(M5)を行った。2. 臨床実習学生に対する指導(心臓手術の術前術後管理、心臓カテーテル検査方法、レポート作成)を行った。
研究	0.70	1. 臨床研究: ① 高齢大動脈弁疾患に対する自己心膜を用いた大動脈弁形成術に関する研究。② 重症心不全に対する 植え込み型補助人工心臓治療に関する研究。2. 厚労省科研補助事業への参加。3. 各種学術集会への参加、発表。		0.20	1. ① 同手術を4例に行った。学会発表3回(沖縄外科会、沖縄県医師会医学総会、日本循環器学会九州地方会)。② 植え込み型補助人工心臓手術を1例に施行した。発表1回(第19回日本臨床補助人工心臓研究会学術集会)。2: 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等克服研究事業 門脈血行異常症に関する調査研究のH25年度班会議に出席し発表した(H25.11.19)。3. 上記以外に国際学会1回、全国学会4回、地方会2回の発表を行った。
社会貢献	0.00	心臓移植を目指した植え込み型補助人工心臓治療を社会的に認知されるよう啓蒙活動を行う。		0.10	第2回 琉大病院 地域連携勉強会にて“重症心不全に対する補助人工心臓治療の現状と展望”を発表した。
管理運営	0.00	各委員会への参加		0.05	第一回心臓移植適応委員会および植え込み型補助人工心臓適応委員会の開催および参加(H25.6.5)
進路指導	0.10	1. 初期研修医に対する進路指導。2. 医学部学生への進路指導		0.05	1. 研修医に対する進路相談を行った。2. 医学部学生に対する進路指導を行った。
診療	0.00	1. 外来診療、2. 入院診療(手術、周術期管理など)		0.40	1. 週1回の外来診療、紹介患者の診療を行った。2. 入院患者の術前、術後管理。週1回の定期手術および緊急手術を行った。
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		永野 貴昭	所 属		第二外科
			職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果
教育	0.20	学生への講義の際に、心臓血管外科領域への興味を持てる魅力ある内容を心がける。医師国家試験成績改善へ向けての対応も充実させる。		0.20	学生講義の際に、現状の手術治療に関する最新のデータを提供することはできた。新しく改訂されたガイドラインをもとに試験問題を作成し、国家試験への対応とした。ベットのサイドレクチャーに関しては、ステントグラフト(説明用)を実際にデモンストレーション形式にて行い、手術術式への理解を深めることができた。
研究	0.10	胸部・胸腹部大動脈瘤に対するステントグラフト治療における術中MEP検査の意義および有効性についての研究。		0.10	引き続き術中データを集積・解析を行い、全国主要学会への発表を行った。今後、論文投稿予定である。
社会貢献	0.10	大動脈ステントグラフト内挿術の新たな展開、および経カテーテル大動脈弁置換術の県民への情報伝達・啓蒙を行う。		0.10	ハイブリッド手術室導入により、より安全かつ高度なステントグラフト治療手術が可能となり、今後の社会貢献に期待できる。ハイブリッド手術室での血管内治療を遂行しながら、平成26年度の経カテーテル大動脈弁置換術導入への準備を行っている。
管理運営	0.20	本年度完成予定のハイブリッド手術室を効率的かつ潤滑に稼働できるよう万全の態勢を整える。		0.20	ハイブリッド手術室の導入に備え、万全な体制を整えたことでステントグラフト治療において大きなトラブルの発生なく、安全・円滑にハイブリッド手術室での血管内治療が遂行できた。
進路指導	0.00			0.00	
診療	0.40	外来診療においては、待ち時間短縮を、入院診療においては安全に手術を遂行する。		0.40	外来診療においては外来担当医師を増員することで、待ち時間の短縮に大きく貢献できた。入院診療においても安全に手術遂行できた。
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		古堅 智則	所 属	第二外科	職 名	助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果	
教育	0.20	医学部臨床実習学生または初期臨床研修医に対して、手術、カンファレンス、ベッドサイドを中心に呼吸器外科の臨床内容をわかりやすく伝える。		0.20	手術、レポートを中心に学生に指導した。	
研究	0.20	肺癌研究の動向を踏まえながら、基礎研究または臨床研究に取り組んでいく。		0.00	現在、研究内容を検討中	
社会貢献	0.20	原発性肺癌、ならびに転移性肺腫瘍に対して、他科との連携の上で手術治療を含めた集学的治療に取り組んでいく。		0.20	例年通りの症例数で、第一内科をはじめ他科との連携の上で診療に従事した。	
管理運営	0.10	がん診療について院内委員会を通じて、向上に努める		0.10	院内委員会に参加し、討論した。	
進路指導	0.10	呼吸器外科の特徴を伝え、医学部学生の進路の一助になるように努める。		0.10	学生または初期研修医の相談に乗った。	
診療	0.20	技術的、耐術能的に困難な症例でも、積極的に対応する。		0.40	技術的、耐術能的に困難な症例でも、上司や他科の協力のもとに対応することができた。	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		照屋孝夫	所 属		医学部附属病院 第2外科
			職 名		助教
領域	業務 ウエイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウエイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果
教育	0.15	M5/M6/研修医に対し、症例をとおして呼吸器外科領域の診療を指導している。研修医には医療行為を経験させることで実地医療を指導し、学生にはレポート作成を行ってもらうことで教育的指導を行う。		0.15	症例をとおして呼吸器外科領域の診療を指導しているが、十分な時間をかけられているか疑問である。M5/M6/研修医に対しミニ講義を行っている。M3に臨床講義を行った。
研究	0.10	呼吸器外科に関する臨床症例検討を行い、全国学会での発表(2回/年)、論文作成(1編/年)を目標とする。		0.10	日本呼吸器外科学会/肺癌学会/臨床外科学会総会、日本胸部外科学会地方会、沖縄県医師会総会/外科会での発表を指導した。論文作成を指導している。
社会貢献	0.10	県の呼吸器がん検診・登録事業の協議会に参加しており肺癌等の早期発見を目指す。次世代の呼吸器外科医を育成していくこと。沖縄県がん地域連携クリティカルパスの普及に努める。		0.10	検診の胸部X線写真の読影を行っている。沖縄県がん地域連携クリティカルパス肺がん部門での統括にあたった。沖縄県呼吸器のがん検診分科会への参画。院内がん登録委員会への参画。
管理運営	0.10	手術件数を前年度よりも増やす。OSCEの指導、審査。救急部運営協議会・材料部運営協議会・医薬品安全管理専門委員会の委員		0.10	紹介元への返書を徹底した。各委員会への参画。大学入試センター試験の救急担当医師。
進路指導	0.05	医局のチューターとして指導する。後期臨床研修進路説明会で医局の紹介を行う。親身になり、個々に応じた助言をする。楽な方ではなく、やりがいのある方へ。		0.10	医局長として、医局員・研修医・学生に助言した。
診療	0.50	患者さんに最良の治療(診断のための検査/治療方針の決定/手術)を提供できるよう最善をつくす。		0.45	呼吸器カンファレンス等に積極的に参加し、個々の症例に対し最良の治療を提供するよう努めた。全国学会・セミナーに参加し最新の知見を得るよう努めた。
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウエイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	・ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		渡邊 孝	所 属		脳神経外科	職 名		講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果		
教育	0.10	脳神経外科学講義、救急医療系講義、研修医レクチャーを通じて、脳神経外科領域における必要な知識の習得を目指して指導を行う。			0.10	脳神経外科学講義、救急医療系講義、研修医レクチャーを通じて、脳神経外科領域における必要な知識の習得を目指して指導を行った。		
研究	0.20	1)髄膜腫におけるグルタミン酸受容体の発現、サブユニットの構成様式と病理学的所見、臨床的所見との関連について解析し、研究結果を発表する。2)安全で確実性の高い術中神経モニタリング法を開発する。3)神経内視鏡手術の発展に向けた手術機器の開発を行っていく			0.20	研究は、現在進行中である。		
社会貢献	0.05	クリニカルシミュレーションセンターにおいて、脳神経外科医を目指す研修医に対して、脳神経外科手術における基本手技の習得を目的とした手術手技習得コースを開催する。			0.05	クリニカルシミュレーションセンターにおいて、脳神経外科医を目指す研修医に対して、脳神経外科手術における基本手技の習得を目的とした手術手技習得コースを開催した。		
管理運営	0.10	リスクマネージャーとして、病棟の安全対策、危機管理運営を行う。救急部運営委員として、救急部の運営に関与する。輸血療法委員として、血液製剤の適正利用に向けた活動を行う。卒後研修センターでは、有意義な初期研修が行われるよう活動する。			0.10	リスクマネージャーとして、病棟の安全対策、危機管理運営を行った。救急部運営委員として、救急部の運営に関与した。輸血療法委員として、血液製剤の適正利用に向けた活動を行った。卒後研修センターでは、有意義な初期研修が行われるよう活動した。		
進路指導	0.05	脳神経外科臨床実習において、必要に応じて進路指導を行っていく。特に脳神経外科医を希望する学生に対しては、卒後に有効な研修ができるように研修コースを提示して進路指導を行う			0.05	脳神経外科臨床実習において、必要に応じて進路指導を行った。脳神経外科医を希望する学生に対して、卒後に有効な研修ができるように研修コースを提示して進路指導を行った。		
臨床業務	0.50	安全性が高く、質の高い治療を行うことを第一目標とする。神経内視鏡手術、神経内視鏡を用いた経蝶形骨洞手術、頭蓋底手術を実践し、治療成績向上を目指す。			0.50	安全性が高く、質の高い治療を行うことを行っている。神経内視鏡手術、神経内視鏡を用いた経蝶形骨洞手術、頭蓋底手術を実践し、治療成績は向上している。		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前	宮城智央		所 属	脳神経外科	
職 名	助教				
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果
教育	0.05	医学科4年生へ担当の講義(救急医療系:意識障害)が予定されている。2週間毎に臨床実習を受ける医学科5年生に担当範囲のレクチャーを継続して行い、また、医師国家試験についても継続して助言を行っていく。脳血管シミュレーションを医学科5、6年生へ昨年度同様に毎週行う。		0.05	初期臨床研修医の指導を行った。臨床実習前の学生に対して、担当患者について説明した。1~2週間毎に臨床実習を受ける4、5、6学生に担当範囲の頭部外傷のレクチャーを継続して行い、また、医師国家試験についても助言を行った。
研究	0.10	脳腫瘍(髄膜腫)のアミノ酸代謝物やMRIの分析、CTやMRIの術前画像分析などの研究を継続し、これまで同様に県内外での学会発表を継続し、論文発表も行っていく。		0.10	以下の学会発表をした。第72回日本脳神経外科学会学術総会:「術前戦略としての脳神経外科手術シミュレーションのための最新3D画像合成についての検討」。第113回九州医師会医学会「画像シミュレーションを用いた脳神経外科手術」
社会貢献	0.05	これまで通り、南部徳州会病院、大浜第一病院での外来を主に継続して行い、地域病院を支援してく。		0.05	定期的に南部徳州会病院、大浜第一病院の外来を行い、地域病院を支援した。
管理運営	0.05	感染対策実務者会議などこれまで同様に継続していく。その他、各種会議について代理出席にて補助していく。		0.05	感染対策実務者会議にての資料を医局にて配布していった。脳神経外科・内視鏡システム仕様策定委員、病院情報管理システム更新手術ワーキングサブリーダー、術中MRI診断システム仕様策定委員を務めた。
進路指導	0.05	1~2週間毎に臨床実習を受ける学生に対して、毎回、脳神経外科学会のパンフレットをこれまで同様に配布し説明する。脳外科医局の研修会説明会をこれまで同様に開催し、全体研修説明会へも参加する。		0.05	脳神経外科研修説明会に出席し、訪問した学生や研修医に脳外科一般についてや琉球大学脳外科などについて説明した。
診療	0.70	日々の入院、手術、外来、当直、救急の業務を怠りなく、より安全で確実に継続して行っていく。病院運営改善案について提出要請があれば、これまで通り対策案を提議していく。		0.70	日々の入院、手術、外来、当直、救急の業務を安全に行い、医療過誤なく業務をなした。
計	1.00			1.00	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		堀苑 英寛	所 属		整形外科	職 名		講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果		
教育	0.20	医学部学生、実習生に対する関節リウマチ、感染、骨代謝講義、臨床的指導を行う。			0.15	学生に対する講義、指導を行うことができた。		
研究	0.10	関節リウマチに関する研究を行い、学外へ発表する。			0.10	学会へ参加、研究指導を行い、学会へ発表した。		
社会貢献	0.10	関節リウマチの啓蒙を行う。自賠責保険での算定を行う。			0.10	市民公開講座での発表、研究会、薬剤師会での講演を行った。		
管理運営	0.10	病棟医長、感染対策実務者、外来化学療法会議、手術部運慶会議等のメンバーとして運営に携わる。			0.05	定期的に会議に参加し、周知した。		
進路指導	0.10	初期研修医、整形外科後期研修医の指導を行う。			0.10	臨床現場で指導した。		
臨床	0.40	臨床業務			0.50	臨床業務に従事した。		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		前原博樹	所 属		整形外科	職 名		講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果		
教育	0.15	医学生に対する骨軟部腫瘍領域の講義 授業の見直し(学生の意見を取りいれながら)			0.15	M5の講義およびポリクリ講義において、骨軟部腫瘍の講義を行ったが、学生の意見は十分取り入れ改善している段階		
研究	0.15	学会での報告発表、外部資金の獲得、他大学との共同研究、他施設共同研究			0.15	国内、国外において研究結果を報告できた。外部資金の獲得はできなかった。		
社会貢献	0.05	啓蒙活動(医療従事者)、教育講演(一般)			0.10	県外で医療従事者向けに講演を行った。一般向けには達成できなかった。		
管理運営	0.10	骨軟部腫瘍ミーティングの開催(病理医、放射線科医)、レジメン委員会			0.10	病理医、放射線医を含めたconferenceであるRMTC(Ryuukyuu Musculoskeletal Tumor Conference)を3回/年行った。		
進路指導	0.05	医学部卒業予定者、研修医に対する進路説明会			0.05	医局説明会等を通して、進路についてアドバイスを与えることができた。		
診療	0.50	診療活動			0.45	通常通りこなせた。		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		山内 貴敬	所 属	附属病院	職 名	助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果	
教育	0.30	研修医の指導。学生臨床実習の指導。系統講義など		0.07	研修医は手術、病棟回診、症例検討を通じて治療のアプローチを学習。学生は外来診察、受け持ち患者を持たせ患者さんとの接し方や治療法の考え方を学ばせた	
研究	0.30	当院における股関節治療の臨床評価		0.07	当院における股関節前方アプローチによる人工股関節置換術の成績について発表	
社会貢献	0.00			0.10	骨と関節の日におけるロコモティブシンドロームの講演会の開催、司会。	
管理運営	0.30	医局および病棟の業務の円滑化		0.21	病棟クリニカルパス、リスクマネージャーとしての仕事、医局長としての運営	
進路指導	0.10	学生および初期研修医の進路指導		0.30	来年度入局予定3人	
診療	0.00			0.25	股関節・骨粗鬆症専門外来、最小侵襲手術	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)											
名 前		大城義竹		所 属		琉球大学医学部付属病院整形外科		職 名		助教	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定				業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果				
教育	0.20	ポリクリや臨床講義などに力を入れていきたい				0.20	ポリクリや臨床講義を十分に達成できた				
研究	0.20	臨床研究では本年度1回の学会発表、論文作成が目標				0.20	個人での学会発表はできなかったが、共同演者としての協力はできた。				
社会貢献	0.10	臨床の仕事を通じて社会貢献を継続したい				0.10	臨床の仕事を通じて社会貢献を継続したい				
管理運営	0.10	当医局の医局運営や助教として病院全体の管理運営に役に立てるようにになりたい				0.10	当医局の医局運営や助教として病院全体の管理運営に関わることができた				
進路指導	0.20	学生の進路指導を行いたい。具体的に整形外科の役割などを説明してゆきたい				0.20	ポリクリ、クリクラを通して整形外科の役割などを説明し、進路について考えてもらった。				
診療	0.20	臨床の仕事を通じて社会貢献を継続したい				0.20	手術、外来を例年通り行えた。				
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 				1.00	0.8 ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		玉城 邦人	所 属		附属病院 小児科	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果		
教育	0.30	臨床研修医・後期研修医および医学部学生に対し診療業務および小児科領域の診察および検査の手技と結果の解釈、病態の解析、治療法について指導を行う。			0.30	研修医および学生に対し、専門領域の診察・検査・治療に関して説明と指導を行った。		
研究	0.20	関連領域の学会・研究会等に積極的に参加し情報交換を行うとともに新たな知見の集積につとめる。			0.10	県内での学会・研修会には参加できたが県外学会への参加が十分とは言えなかった。		
社会貢献	0.00				0.00			
管理運営	0.00				0.10	副病棟医長を担当し、病棟運營業務に参画した。		
進路指導	0.00				0.00			
診療	0.50	外来及び病棟における患者診療を通じて自己の診療スキルの向上を図る。			0.50	診療に関する業務が大きな比重を占め、教育・研究に携わる時間を十分に確保できなかった。		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		平良清人	所 属		琉球大学附属病院	職 名		講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果		
教育	0.10	実習学生に対して実技指導・講義を行う。			0.10	教育実習に来た学生に対してアレルギー検査の説明、実習を行った。講義3コマを行った。		
研究	0.20	週1回、大学院生と実験カンファレンスを行う。科学研究費を獲得したテーマの実験をすすめる。			0.20	週1回、大学院生を含め実験カンファレンスに参加した。		
社会 貢献	0.05	一般市民向けの在宅褥瘡セミナーを行い、褥瘡の啓蒙を行う。			0.05	一般市民向けの在宅褥瘡セミナーを行う準備を進めている。		
管理 運営	0.20	皮膚科内で行われる病理・写真カンファレンスに参加する。週1-2回外来診療を行う。病棟回診に参加する。			0.20	皮膚科内の病理・写真カンファレンスに出席した。週1回の病棟回診に参加した。		
進路 指導	0.05	希望のあった学生に対して進路相談をする。			0.00	特に進路相談を求めてくる学生はいなかった。		
診療	0.40	週1-2回、外来を行う。			0.45	週2回、外来診察を行った。		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		山本 雄一	所 属	医学部附属病院	職 名	講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果	
教育	0.20	医学科学生の臨床系統講義、医学科臨床実習生の指導・教育、看護師の指導・教育、研修医・研究生・医員の指導・教育。組織検討会を行い、皮膚病理学指導、学科発表の指導を行う。		0.20	学部学生の講義を行った。臨床研究学生に対して臨床を指導した。組織検討会を行い、皮膚病理学を指導し、学会への発表の指導を行った。	
研究	0.20	沖縄県皮膚科学会・勉強会への参加・発表。南九州合同地方会・日本皮膚科学会沖縄地方会への参加・発表。皮膚科学会雑誌への論文投稿。依頼論文の投稿。		0.20	沖縄県皮膚科勉強会、地方会へ参加した。	
社会貢献	0.10	沖縄県他施設での外来診療・手術。市民公開講座の開催、運営。		0.15	沖縄県他施設での外来診療、手術を行った。	
管理運営	0.10	がん部会会議への出席。		0.10	がん部会のメンバーとしてスタッフ会議に参加した。	
進路指導	0.10	医学部学生・研修医への進路指導を行う。		0.10	初期臨床研究研修中の医師に対して、研究後の進路について指導した。	
診療	0.30	大学病院での外来・入院・手術診療。		0.25	週三回の皮膚科外来診療を行った。病棟回診を行った。	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		林 健太郎	所 属		医学部附属病院皮膚科	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果			
教育	0.15	医学部学生への臨床講義。医学科臨床実習生、研修医への指導・教育。		0.15	医学部学生への臨床講義。医学科臨床実習生、研修医への指導・教育。			
研究	0.15	沖縄県皮膚科学会・勉強会への参加・発表。日本皮膚科学会・日本皮膚外科学会への参加・発表。学会雑誌への論文発表。		0.15	沖縄県皮膚科学会・勉強会への参加・発表。日本皮膚科学会総会での発表。			
社会 貢献	0.10	各種市民公開講座の開催、運営、講演。県立宮古病院をはじめとする、沖縄県内他施設での診療。沖縄県特有の皮膚疾患の診療。		0.10	県立宮古病院をはじめとする、沖縄県内他施設での診療。沖縄県特有の皮膚疾患の診療。			
管理 運営	0.10	がん部会・レジメン委員会等での会議・運営および日常診療への反映。		0.10	がん登録委員会・レジメン委員会等での会議・運営および日常診療への反映。			
進路 指導	0.10	医学部学生・研修医への進路指導。		0.10	医学部学生・研修医への指導。			
診療 業務	0.40	附属病院における手術・外来診療・入院患者診療。		0.40	附属病院における手術・外来診療・入院患者診療。			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		園崎 哲	所 属		琉球大学医学部附属病院	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果		
教育	0.15	医学科学生への臨床系統講義による教育。医学科臨床実習生への病棟での教育。研修医への皮膚科学の教育。			0.20	沖縄県他施設での外来診療にも従事し、手術も施行した。また、市民公開講座の開催にあたって開催者側として従事した。		
研究	0.10	第112回日本皮膚科学会総会への参加・発表。沖縄地方会での発表。角化症研究会への発表。学会雑誌への論文発表。オロパタジンの臨床治験実施。			0.15	日本皮膚科学会西部支部学術大会、角化症研究会、岡山地方会、沖縄県地方会での発表を行った。		
社会貢献	0.10	沖縄県他施設での外来診療・手術。市民公開講座の開催、運営。			0.15	沖縄県他施設での外来診療にも従事し、手術も施行した。また、市民公開講座の開催にあたって開催者側として従事した。		
管理運営	0.25	感染対策実務者としての管理運営。			0.10	感染対策委員として、院内感染発生状況の報告や病棟での感染対策について指導した。		
進路指導	0.10	医学部学生への進路指導。研修医への進路指導。			0.10	医学部学生、研修医に対して、皮膚科領域の診療内容の説明と、進路選択に対して指導を行った。		
診療	0.30	大学病院における外来診療や入院患者診療。関連施設での外来診療。			0.30	大学病院における外来診療と、自科・他科入院患者の診療に従事した。関連施設での外来診療にも従事した。		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		呉屋 真人	所 属		医学研究科 泌尿器科学講座
			職 名		講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果
教育	0.15	医学部学生に対する泌尿器科の基本的検査や尿路系疾患に関する臨床講義。臨床実習医学生に対する、病棟、外来、手術室での指導。臨床実習医学生に対する尿路悪性腫瘍領域における最新内容のクルズスを行う。医学科の指導教官として、学習および生活面の諸々のアドバイスを行なう。		0.15	医学部学生に対する泌尿器科の基本的検査や尿路系疾患に関する臨床講義、臨床実習医学生に対する、病棟、外来、手術室での指導、臨床実習医学生に対する尿路悪性腫瘍領域における最新内容のクルズスを行なった。医学科の指導教官として、学習および生活面の諸々のアドバイスを行なった。
研究	0.15	日本泌尿器科学会、癌学会、癌治療学会、日本EE学会等において臨床研究の発表を行う。		0.15	日本泌尿器科学会総会、日本泌尿器内視鏡学会において、臨床研究報告を行った
社会貢献	0.05	沖縄県の腎機能障害の自立支援医療(更生医療)の医学判定等の嘱託医		0.05	沖縄県の腎機能障害の自立支援医療(更生医療)の医学判定等の嘱託医として活動した。
管理運営	0.05	栄養サポート運営委員会、輸血療法委員会、カンサーボード、医局長会議など		0.15	栄養サポート運営委員会、輸血療法委員会、カンサーボード、医局長会議に参加した。医局長として、医局運営に貢献した。
進路指導	0.00			0.00	
診療	0.60	入院、外来患者数の増加:癌患者の手術、薬物療法に加え、本年度は腹腔鏡下前立腺全摘除術の施設認定の取得とその症例増加および技術向上を目標とする。		0.50	患者の手術、薬物療法のほか、本年度は腹腔鏡下前立腺全摘除術の施設認定の取得のため、準備を行った。
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		上原貴行	所 属	耳鼻咽喉科	職 名	助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果	
教育	0.20	医学部学生(M5,6)の病院実習(ポリクリ)における指導・教育		0.20	予定通り施行(鼻科学講義、実習での指導等)	
研究	0.20	頭頸部癌における基礎研究		0.10	大学院での研究成果のまとめ、新たな臨床研究の計画案作成中。	
社会貢献	0.00			0.00		
管理運営	0.10	医学部附属病院の運営委員会議(4委員会)		0.10	予定通り施行	
進路指導	0.00			0.00		
診療	0.50	耳鼻咽喉科診療(外来診療・手術・入院患者管理等)		0.60	予定通り業務を行った。	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		長谷川昌宏	所 属		耳鼻咽喉科
			職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果
教育	0.05	医学生に対し、講義・実習指導を行い、耳鼻咽喉・頭頸部外科学領域の理解の援助を行う。市民講座(耳の日・鼻の日)を開催し、一般への啓蒙を図る。		0.05	医学生に講義・実習を行い、耳鼻咽喉・頭頸部外科学領域の理解を促し、将来の人材育成を行った。市民講座(耳の日・鼻の日)を行った。
研究	0.06	耳鼻咽喉・頭頸部外科学領域で、沖縄県に特徴的なウイルス疾患・頭頸部腫瘍につき、研究を行う。学会での報告および学会誌への投稿を行う。科学研究費の助成をうけて研究を行っている。助成の最終年度であり、さらに発展させた研究による助成の申請を行う。		0.06	研究テーマにつき学会発表を行った。
社会貢献	0.05	専門分野である耳鼻咽喉・頭頸部外科学領域の診療で、治療成績・患者満足度の向上を目指す。臨床成績の向上が、直接社会貢献につながると考える。		0.05	臨床統計により、中咽頭癌の治療成績の向上を確認した。臨床成績の向上が、社会貢献につながっていると考えた。
管理運営	0.02	入院期間の短縮につとめ、経費削減を目指す。		0.02	短期入院手術を積極的に進めている。特に鼻科手術については、昨年度に比較しても、かなりの短縮となっている。
進路指導	0.02	医学生に対し、頭頸部外科学領域診療・研究の重要性につき指導する。耳鼻咽喉・頭頸部外科学領域の後継者を育成する。		0.02	手術指導を中心に後継者を育成している。
診療	0.80	専門分野である耳鼻咽喉・頭頸部外科学領域の診療で、治療成績・患者満足度の向上を目指す。特に、他県に比較して多い頭頸部癌についての治療成績の向上、より効果的な治療の方法の開発を目指す。また、鼻科領域で低浸襲手術や、短期入院の検討をする。		0.80	臨床統計により、中咽頭癌の治療成績の向上を確認した。内視鏡下頭蓋底手術を脳神経外科と協力し行っている。
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		中村秀夫	所 属		眼科	職 名		講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果		
教育	0.24	病棟回診とレクチャー、外来診察を利用しての学生教育をおこなう。 系統講義での教育を行う。			0.24	毎週木曜日朝の病棟回診を行った。今年度の系統講義、全身病と眼を行った。		
研究	0.24	主に網膜硝子体分野の臨床的研究と実験動物を利用した新しい手術法の開発。			0.24	黄斑疾患の研究会の理事として運営に携わった。		
社会貢献	0.01	離島からのアクセスのよい出張病院での手術治療をおこなう。			0.01	週1回的那覇市小禄の病院での手術と外来診療を継続して行った。		
管理運営	0.25	薬事委員としての活動を引き続き継続する。			0.25	薬事委員として2か月に1回の委員会に出席した。		
進路指導	0.01	卒後臨床研修中や医学生へのガイダンスを行う。			0.01	眼科への勧誘を含め、進路について相談にのった。年2回ほどの医局説明会に参加した。		
診療	0.25	網膜硝子体を中心とした眼疾患の診断と治療、手術			0.25	週2日の外来業務と手術を行った。		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		外間宏人	所 属		高次機能医科学講座精神病態医学分野
職 名				講 師	
領域	業務 ウエイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウエイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果
教育	0.25	医学部5年次、6年次の臨床実習生に対するオリエンテーションおよび「脳波判読実習」を担当する。最近の脳波に関する研究も示しながら学生の興味を引き出し、脳波についての理解を深める。系統講義では精神症状の概略から脳器質障害、認知症などについて担当する。		0.25	医学部5年次、6年次の臨床実習生に対するオリエンテーションおよび「脳波判読実習」を担当した。最近の脳波に関する研究も示しながら学生の興味を引き出し、脳波についての理解を深めた。系統講義では精神症状の概略から脳器質障害、認知症などについて担当した。
研究	0.25	統合失調症の病態生理に関する研究を実施し、その成果を各種国際学会等にて発表を行う。院内他科(第3内科)とも連携して大学院生のステロイド誘発性精神障害の危険因子についての研究を指導する。学内外の研究者らとの協力・交流を深める目的で定期的に研究会を開催する(Okinawa Clinical Neuroscience研究会)。科研費獲得の準備も進める。		0.25	院内他科(第3内科)とも連携して大学院生によるステロイド誘発性精神障害の危険因子についての研究を指導した。学内外の研究者らとの協力・交流を深める目的で定期的に研究会(Okinawa Clinical Neuroscience研究会)を開催した(計4回)。精神科領域の高度先進医療である光トポグラフィー検査導入にも尽力した。
社会 貢献	0.15	地域緩和ケアレベル向上の為の研修会で講師、ファシリテーターを行う。検察、裁判所等からの依頼に応じて犯罪者の精神鑑定を実施したりその結果についての報告を行う(司法精神医学懇話会)。		0.15	地域緩和ケアレベル向上の為の研修会で講師、ファシリテーターを勤めた。検察、裁判所等からの依頼に応じて犯罪者の精神鑑定を実施したりその結果についての報告を行った(於:第55回司法精神医学懇話会)。
管理 運営	0.10	附属病院精神科神経科外来医長として外来運営にあたる。附属病院内の放射線部運営協議会、障害者歯科センター運営協議会に委員として参加し活動を行う。緩和ケア室連絡会議副室長も兼任している。		0.10	附属病院精神科神経科外来医長として外来運営にあたった。附属病院内の保険診療委員会、病院再整備計画(再開発)検討WG、病院情報管理システム導入推進委員会(診療科システム委員)に参加し活動を行った。緩和ケア室連絡会議副室長も兼任した。当院精神科神経科への高度先進医療光トポグラフィー導入に際し仕様策定委員会長、技術審査委員長を務めた。
進路 指導	0.05	医学部学生の進路相談に応じ、精神科に関心がある者には入局勧誘を行う。大学院生に対しても研究面の指導に加え、進路指導も行う。		0.05	医学部学生の進路相談に応じ、精神科に関心がある者には入局勧誘を行う。大学院生に対しても研究面の指導に加え、進路指導も行った。
診療	0.20	精神科神経科外来診療(月平均80人)、病棟診療(月平均3-5人)に従事する。		0.20	教育、研究と他の領域の業務に支障なく概ね目標としていた患者数の診療を行った。
計	1.00	・ウエイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		高良聖治	所 属	精神科神経科	職 名	助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果	
教育	0.15	病棟グループ長として研修医・学生教育。学生授業の一部担当。		0.15	病棟グループ長として研修医・学生の指導や授業の一部を担当した。	
研究	0.15	成人広汎性発達障害患者の調査結果をまとめて学会発表。論文発表。		0.25	日本精神神経学会や九州精神神経学会にて演題発表を行った。平成26年2月8日沖縄精神神経学会でも一般演題発表予定である。論文作成もしている。	
社会貢献	0.15	年4回行われるがんセンター主催の緩和ケア研修会の講師。月に1回沖縄県精神保健センターにて公費負担判定協議会で書類チェックを担う。		0.15	がんセンター主催の緩和ケア研修会の講師を一回行った。月に1回沖縄県精神保健センターにて公費負担判定協議会で書類チェックを担った。	
管理運営	0.15	副病棟医長として、特に病棟医長不在時に入院患者の受け入れや担当の割り振り、他科との連携などを行う。		0.15	副病棟医長として、病棟医長不在時に入院患者の受け入れや担当の割り振り、他科との連携などを行った。院外精神科救急会議にも参加した。	
進路指導	0.10	初期・後期研修医の進路相談に対して情報提供を行う。		0.05	初期・後期研修医の進路相談に対して情報提供を行った。	
診療	0.30	診療従事医師不足(育児休暇中の医師出現時)の期間は一般再来を2日行う。緩和ケア外来患者の新患診察。琉球大学保健管理センターでの精神科診療を行う。		0.25	診療従事医師不足(育児休暇中の医師を認めたため)の期間に一般再来を2日/週担った。緩和ケア外来患者の新患診察。琉球大学保健管理センターでの精神科診療を行った。	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		千葉 至	所 属		医学部 附属病院 放射線科	職 名		講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果		
教育	0.10	授業およびポリクリ実習の指導			0.10	予定通り実施できた。		
研究	0.10	PET用の新たな分子イメージング薬剤を合成や臨床研究への応用			0.10	まだ取り掛かったばかり。(近畿大学や放医研との連携により新たな分子イメージング薬剤の使用などを進めていけそうである。)		
社会貢献	0.10	沖縄県の核医学会の発展のために教育研修会や講演会を主催			0.10	核医学懇話会や心臓核医学教育研修会などを開催し、予定通り実施できた。		
管理運営	0.20	医局、核医学部門、PETセンター、病院放射線安全委員会などを運営			0.20	予定通り実施できた。		
進路指導	0.10	ポリクリ学生の進路指導			0.20	説明会や食事会を開催し、予定通り実施できた。		
診療	0.40	核医学検査を主とする画像検査やRI内容療法外来の実施			0.30	予定通り実施できた。		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)											
名 前		伊良波 裕子		所 属		放射線科		職 名		助教	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定				業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果				
教育	0.15	講義やポリクリ実習にて適切な指導を行う				0.15	講義やポリクリ実習にて適切な指導を行った				
研究	0.20	前立腺や女性骨盤臓器のMRIについての研究				0.10	前立腺関連の研究を継続				
社会貢献	0.05	学会、研究会への参加				0.10	放射線の主要学会や研究会へ参加した				
管理運営	0.05	機器選定や部門材料管理などに携わる				0.05	超音波機器選定に関わった				
進路指導	0.05	入試関連業務やOSCE参加など				0.10	センター試験監督およびOSCE指導に関わった				
診療	0.50	読影、血管造影・IVRなどの日常診療業務				0.50	読影、血管造影・IVRなどの日常診療業務を十分こなした				
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 				1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		粕谷吾朗	所 属		放射線科
			職 名		特命助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果
教育	0.10	ポリクリ学生に対する放射線治療全般についての教育。今年度は講義の予定は現在のところ未定。		0.10	ポリクリ学生に対する放射線治療全般についての教育を継続的に行った。今年度は講義はなかった。
研究	0.30	1、PET関連の研究計画立案(科研費申請中) 2、子宮頸癌に関する腔内照射に関する2編の学会発表・論文投稿 3、頭頸部癌に対する放射線治療に関するデータ収集・学会発表		0.30	1、PET関連の研究計画立案は、特殊核種のPET研究がまだ十分にできない状態であるため、行っていない。しかし子宮頸癌の腔内照射に関する科研費申請をした。2、子宮頸癌に関する腔内照射に関する2編に関して学会発表を行ったうえ、現在論文執筆中であり、今年度中の投稿を目標としている。3、頭頸部癌に対する放射線治療に関するデータ収集・学会発表はできなかった。しかし発表は国内学会4回、海外学会1回、国内の研究会2回(国内学会1回と海外学会1回は同内容だが、他はすべて別内容)を行った。また子宮頸癌の骨転移に関する執筆(中央出版)を行った。4、上記とは別の2本の学術論文が国際誌に受諾された。
社会貢献	0.05	診療や上記研究に伴う社会貢献、講演会など		0.05	重粒子線に関するセミナーのパネリストとしての出席をし、重粒子線治療の啓蒙活動を行った。
管理運営	0.10	一西病棟の病棟医長、NST担当医としての業務、琉球機能画像診断センター(FIMACC)に関する業務		0.10	一西病棟の病棟医長、NST担当医としての業務を行った。琉球機能画像診断センター(FIMACC)に関する業務は、研究者としては関わることはなかった。
進路指導	0.05	担当学生はいない。ポリクリ学生に対する放射線治療に関する指導		0.05	担当学生はいない。ポリクリ学生に対する放射線治療に関する指導を積極的に行った。
診療	0.20	放射線治療外来、重粒子線治療外来、および病棟入院患者の診察		0.20	放射線治療の外来、重粒子線治療外来を行った。
その他	0.20	放射線治療計画(ハイブリッドIGBTの開始、頭頸部MRIの開始、前立腺小線源治療を含め、通常の放射線治療業務)		0.20	ハイブリッドIGBTは当院では行わないこととなった(均てん化困難な治療のため)。頭頸部MRIの開始した。通常の放射線治療業務は継続的に行った。
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		中村 清哉	所 属		麻酔科
			職 名		講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果
教育	0.10	医学部学生の講義に際して、学生が積極的に参加できるように講義の工夫を行う。また、研修医、ローテーターに対し、実際の麻酔管理、ペインクリニック外来の実習監督を行い、指導する。		0.10	医学部学生の講義に際して、学生が積極的に参加できるように講義の工夫を行った。また、研修医、ローテーターに対し、実際の麻酔管理、ペインクリニック外来の実習監督を行い、指導した。
研究	0.10	ペインクリニック、緩和ケア関連の臨床研究、症例検討を行い、学会等で発表を行う。症例報告、原著論文を作成する。		0.10	ペインクリニック、緩和ケア関連の臨床研究、症例検討を行い、学会等で発表を行った。症例報告、原著論文を作成した。
社会貢献	0.10	地域の関連施設に週一回出向し、関連施設の医師及び看護師に対し、技術指導及び教育を行い、地域住民への医療支援及び医療技術の還元を行う。		0.10	地域の関連施設に週一回出向し、関連施設の医師及び看護師に対し、技術指導及び教育を行い、地域住民への医療支援及び医療技術の還元を行った。
管理運営	0.10	スタッフとして医局運営に協力する。		0.10	スタッフとして医局運営に協力した。
進路指導	0.10	教官として学生の進路指導に関わる。		0.10	教官として学生の進路指導に関わった。
診療	0.50	附属病院手術室に置いて、麻酔業務に専従し、手術数増加の為に貢献する。また、手術を受ける患者に対し、安全で高度な医療を提供する。ペインクリニック外来にて疼痛患者の治療を行い、院内緩和ケアチームの活動運営も行う。		0.50	附属病院手術室に置いて、麻酔業務に専従し、手術数増加の為に貢献した。また、手術を受ける患者に対し、安全で高度な医療を提供した。ペインクリニック外来にて疼痛患者の治療を行い、院内緩和ケアチームの活動運営も行った。
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)											
名 前		安部 真教		所 属		麻酔科		職 名		助教	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定				業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果				
教育	0.20	医学部学生、研修医に対し、積極的に実習参加できるよう安全に、丁寧に指導教育する。また、研修医、ローテーターに対し、実際の麻酔管理、ペインクリニック外来の実習監督を行い、指導する。				0.20	医学部学生、研修医に対し、講義、臨床実習を通して全身管理、麻酔管理、ペインクリニックの教育、指導を行った。超音波や透視室を利用した神経ブロックを指導し、安全に実施することができた				
研究	0.10	ペインクリニック、緩和ケア関連の臨床研究、症例検討を行い、学会等で発表を行う。症例報告、原著論文を作成する。				0.10	ペインクリニック、緩和ケアの症例検討を行い、ペインクリニックに関して学会発表を行った。				
社会貢献	0.10	地域の関連施設に週一回出向し、関連施設の医師及び看護師に対し、技術指導及び教育を行い、地域住民への医療支援及び医療技術の還元を行う。				0.10	地域の関連施設に週一回出向し、関連施設の医師及び看護師に対し、技術指導及び教育を行った。緩和ケア研修会でペインクリニック、緩和ケアに関する講義を行った。看護学校での講義を行った。				
管理運営	0.10	手術室の効率的運営を行えるように、手術室看護師、外科系医師と協力し、手術室稼働の調整を行い、安全・迅速に手術室運営を行う。				0.10	手術室看護師、外科系医師と協力し、安全・迅速に手術室運営を行った。外来看護師、スタッフとも協力して運営を行い、大きな問題は生じなかった。				
進路指導	0.10	学生および研修医に対し、今後の進路に関する情報を与え指導を行う				0.10	学生および研修医に対し、積極的にコミュニケーションを図り、今後の進路や現状に関して話し合いを行った。				
診療	0.40	附属病院手術室において、麻酔業務に専従し、手術数増加の為に貢献する。また、手術を受ける患者に対し、安全で高度な医療を提供する。ペインクリニック外来にて疼痛患者の治療を行い、院内緩和ケアチームの活動運営も行う。				0.40	附属病院手術室において、手術を受ける患者に対し、安全で高度な医療の提供に努めた。ペインクリニック外来において痛みの治療を行い、多くの患者でQOLの改善がみられた。院内緩和ケアチームの活動を行い、癌治療に伴う苦痛の軽減を行った。				
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 				1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		比嘉 達也	所 属	麻酔科	職 名	助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果	
教育	0.20	医学部学生の講義に際して、学生が積極的に参加できるように講義の工夫を行う。また、研修医、ローテーターに対し、実際の麻酔管理、ペインクリニック外来の実習監督を行い、指導する。		0.20	医学部学生、研修医に対し、講義、臨床実習を通して全身管理、麻酔管理、ペインクリニックの教育、指導を行った。神経ブロックの説明に骨の模型を用いるなどの工夫を行った。	
研究	0.10	ペインクリニック、緩和ケア関連の臨床研究、症例検討を行い、学会等で発表を行う。症例報告、原著論文を作成する。		0.10	ペインクリニック、緩和ケアの症例検討を行い、ペインクリニックに関して学会発表を行った。	
社会貢献	0.10	地域の関連施設に週一回出向し、関連施設の医師及び看護師に対し、技術指導及び教育を行い、地域住民への医療支援及び医療技術の還元を行う。		0.10	地域の関連施設に週一回出向し、関連施設の医師及び看護師に対し、技術指導及び教育を行った。緩和ケア研修会でペインクリニック、緩和ケアに関する講義を行った。	
管理運営	0.10	スタッフとして医局運営に協力する。		0.10	手術室看護師、外科系医師と協力し、安全・迅速に手術室運営を行った。外来看護師、スタッフとも協力して運営を行い、大きな問題は生じなかった。	
進路指導	0.00			0.00		
診療	0.50	附属病院手術室において、麻酔業務に専従し、手術数増加のために貢献する。手術を受ける患者に対し、安全で高度な医療を提供する。ペインクリニック外来にて患者を診療し治療する。		0.50	附属病院手術室において、手術を受ける患者に対し、安全で高度な医療の提供に努めた。ペインクリニック外来において疼みの治療を行い、QOLの改善が多くの患者にみられた。院内緩和ケアチームの活動を行い、癌治療に伴う苦痛の軽減を行った。	
計	1.00			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。	

※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。

学外公表に同意しない。

学内公表に同意しない。

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		仁村 文和	所 属		歯科口腔外科
			職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果
教育	0.20	医学部学生に対して口腔外科領域の講義および手術を通じて口腔領域の解剖等の講義を行う。特に講義においては、腫瘍、および摂食、嚥下について講義を行う。研修医に関して、診療や学会を通じて口腔外科に必要な知識を確認を行う。		0.20	医学部学生に対して口腔外科領域の講義および手術を通じて口腔領域の解剖等の講義を行った。特に講義においては、口腔腫瘍、および摂食、嚥下障害について理解を深めてもらい講義を行った。
研究	0.10	口腔癌の頸部リンパ節転移に対する動注化学放射線療法後の治療効果について研究。また、口腔癌術後の摂食・嚥下機能評価について研究を行う。		0.10	口腔癌の動注化学放射線療法後の治療効果について学会発表(日本口腔腫瘍学会で発表)を行った。口腔癌の臨床統計をまとめ、学会で発表を行った。
社会貢献	0.20	口腔外科での知識を開業歯科医院に診療や勉強会で共有する。口腔健診を通じて口腔癌の早期発見に貢献する。		0.20	日本歯科医師会の会議に参加、今後の口腔ケアについて開業歯科医院との連携について会議を行った。また口腔検診を行うことで早期の口腔癌発見についても行ってきた。
管理運営	0.10	歯科医師研修指導歯科医師の委員長として研修運営に携わる。		0.10	歯科医師研修歯科医師の選考、プログラムの作成、その他の運営に携わった。
進路指導	0.20	研修医に対して、今後の進路指導について指導を行う。		0.20	研修医に対して、カンファレンス、臨床を通して基本的考え方、診断の重要性を教えた。また今後の進路指導について指導を行う。
診療	0.20	口腔外科疾患の治療、特に口腔癌の治療を中心に診療を行った。また術前の口腔ケア、および摂食嚥下障害の治療を行った。		0.20	特に口腔癌治療と術前の口腔ケア、摂食嚥下障害の評価およびリハビリを行った。また日本口腔外科学会の専門医を習得した。
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		久田 友治	所 属	附属病院手術部	職 名	准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果	
教育	0.25	手術部実習(M5・通年):手術時手洗い、標準予防策(静脈針留置、 針刺し対策を含む)、縫合を始めとした実習を行う。実習の半分をお きなわシミュレーションセンターで実施する。呼吸器・胸壁・縦隔(M3) の講義。委託された外部の臨床工学科の学生実習を行なう。		0.25	M5の手術部実習を通年でシミュレーションセンター等で実施した。M3に呼 吸器・胸壁・縦隔の講義と外部から委託された臨床工学科の学生実習を実 施した。M5の総合講義とM4医療学総論を担当し、M4に手術部のオリエン テーションを実施した。	
研究	0.25	基礎看護学教室とのラオスにおける共同研究を継続する。学会報 告:「手術患者のドレーンに関するインシデント」(日本外科学会)、「全 国国立大学病院における手術用機器・設備の故障とその対応」(日 本医療機器学会)、「手術における異物遺残対策としてのカウントとX 線検査の意義」(日本手術医学会)論文の投稿:「手術時手洗いラビ ング法」、「手術における異物遺残の検討」、「転倒転落における危険 因子」。		0.25	基礎看護学教室とのラオスにおける共同研究でラオス国に2回赴き、3回 の講演を行った。学会報告:外科学会、医療機器学会、手術医学会で発表。 論文:「内視鏡外科手術関連機器の安全管理からみた臨床工学技士への 期待」「医療機器の故障」「全国国立大学病院における手術部運営の効率 化」「手術医療の実践ガイドライン(改訂版)」の第2章と第7章の執筆を担当 した。	
社会 貢献	0.10	沖縄県の医療安全推進協議会委員として、県内における医療安全 の情報共有を進める。県医師会の医療安全対策委員。社会保険診 療報酬請求書審査委員会委員。上記研究によるラオスにおける感 染対策の援助		0.10	沖縄県の医療安全推進協議会委員として医療安全の情報共有を進めた。 県医師会の医療安全対策委員として講演会の企画を行った。社会保険診 療報酬請求書審査委員会委員。ラオスにおける感染対策の援助を実施し た。	
管理 運営	0.40	手術部管理:安全で円滑な手術部運営に努め、特に効率化を進め る。感染対策室:抗菌薬適正使用を推進する。安全管理対策室にお ける分析担当者としての役割を果たす。		0.40	手術部管理:安全で円滑な手術部運営に努め、手術の稼働率は全国国立大学病 院の中でも上位であった。安全管理対策:部署のリスクマネージャーと分析担当者としての 役割を果たした。なお、手術部から報告されたインシデントは41件であった。クリニ カルパス推進:新たな活動として病院全体のクリニカルパスの推進委員、部会長と して関わった。感染対策:10月まで兼務していたが、本来の業務多忙のため11月よ り兼務を解かれた。	
進路 指導	0.00			0.00		
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠を広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してく ださい。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		野口 信弘	所 属	麻酔科(手術部)	職 名	助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果	
教育	0.20	学生が積極的に参加できるように講義の工夫を行う。ポリクリ実習学生に対し、当科の役割や面白さを伝え実習指導を行なう。消防学校での講義を通し救急救命士の育成に貢献する。		0.20	学生の講義は、スライド作成に工夫を行い興味を持てる様に行った。ポリクリ実習、臨床研修に際しては、実際に参加させ実習、研修に興味を持たせるように行った。また消防学校での講義を行った。	
研究	0.20	臨床研究および基礎研究を通して、医学・医療の発展に貢献できる結果を学会および論文として公表する。若手研究(B)の採択に伴い、これらの課題研究を推し進める。		0.20	基礎研究および臨床研究の成果を学会で発表し、学術誌への投稿も行った。	
社会貢献	0.10	地域の関連施設に週1回出向し、関連施設の医師及び看護師に対し、技術指導及び教育を行い、地域住民への医療支援及び医療技術の還元を行う。		0.10	地域の関連施設での麻酔指導及び教育を行った。	
管理運営	0.20	手術室の効率的運営を行えるように、手術室看護師、外科系医師と協力し、手術室稼働の調整を行う。		0.20	週間手術予定の作成を行い手術室看護師や外科系医師との調整を行い効率的な手術室運営を行うことができた。	
進路指導	0.10	学生および研修医に対し、今後の進路に関する情報を与え指導を行う。		0.10	研修医指導医養成セミナーでの知識を生かし学生、研修医への指導を行った。	
診療	0.20	附属病院手術室において、麻酔業務に専従し、手術数増加のために貢献する。手術を受ける患者に対し、安全で高度な医療を提供する。		0.20	手術室の効率的運営により、昨年より手術数の増加を図ることができた。また、安全に手術麻酔を施行し、大きな問題なく施行できた。	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		西 啓亨	所 属		手術部
			職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果
教育	0.20	医学部学生、初期臨床研修医、後期研修医に対し、実際の麻酔管理についてエビデンスを示しながら指導する。手技に関するシミュレーション教育を積極的に行う。		0.20	医学部学生、初期臨床研修医、後期研修医に対し、手技に関するシミュレーション教育を目標通り行った。
研究	0.20	シグナル伝達に関する基礎研究、筋弛緩薬など麻酔関連の臨床研究を計画・実施する。また、学術集会、学術誌等で発表を行う。		0.20	筋弛緩薬に関する臨床研究結果に関しては、国際学会にて発表した。ある程度の目標は、達成した。
社会貢献	0.10	地域の関連施設に週一回出向し、関連施設の医師及び看護師に対し、技術指導及び教育を行い、地域住民への医療支援及び医療技術の還元を行う。		0.10	ほぼ目標通り達成した。
管理運営	0.20	手術室の効率的運営を行えるように、手術室看護師、外科系医師と協力し、手術室稼働の調整を行い、安全・迅速に手術室運営を行う。		0.20	ほぼ目標通り達成した。
進路指導	0.10	卒後臨床研修センター委員として、初期研修医の研修教育、初期研修後の進路相談を行う。		0.10	ほぼ目標通り達成した。
臨床	0.20	附属病院手術室において、麻酔業務に専従し、安全に周術期管理を行う。		0.20	ほぼ目標通り達成した。
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		大城 匡勝	所 属	手術部	職 名	助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果	
教育	0.15	学生および初期臨床研修医、後期研修医に対し、実際の麻酔管理について根拠を示しながら、シミュレータを活用し指導する。		0.15	学生および初期臨床研修医、後期研修医に対し、実際の麻酔管理について根拠を示しながら、シミュレータを活用し指導した。	
研究	0.15	動物実験また臨床で得られた新たな知見をもとに学術集会、学術誌等で発表を行い、論文作成をする。		0.15	動物実験また臨床で得られた新たな知見をもとに学術集会、学術誌等で発表を行い、論文作成を行った。	
社会貢献	0.10	地域の関連施設に週一回出向し、関連施設の医師及び看護師に対し、技術指導及び教育を行い、地域住民への医療支援及び医療技術の還元を行う。		0.10	地域の関連施設に週一回出向し、関連施設の医師及び看護師に対し、技術指導及び教育を行った。地域住民への医療支援及び医療技術の還元を行った。	
管理運営	0.25	手術室の効率的運営を行えるように、手術室看護師、外科系医師と協力し、手術室稼働の調整を行う。		0.25	手術室の効率的運営を行えるように、手術室看護師、外科系医師と協力し、手術室稼働の調整を行った。	
進路指導	0.10	後期研修医・大学院生に対して必要な各種専門医および学位の取得が円滑に行えるようカリキュラム編成および指導を行なう。		0.10	後期研修医・大学院生に対して必要な各種専門医および学位の取得が円滑に行えるようカリキュラム編成および指導を行った。	
診療	0.25	附属病院手術室に置いて、麻酔業務に専従し、手術数増加の為に貢献する。また、手術を受ける患者に対し、安全で高度な医療を提供する。		0.25	附属病院手術室に置いて、麻酔業務に専従し、手術数増加の為に貢献した。また、手術を受ける患者に対し、安全で高度な医療を提供した。	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)						
名 前	武村 克哉		所 属	医学部附属病院地域医療部	職 名	助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果	
教育	0.20	<ul style="list-style-type: none"> 卒前地域医療／プライマリ・ケア教育に関する講義の計画・実施 医学科4年次医療面接講義・実習の計画・実施 医学科5年次地域医療実習の計画・実施、実習施設の追加 模擬患者参加型医療面接セミナーの開催 研修医に対するプライマリ・ケア教育の実施 臨床研修指導医に対する講習の計画・実施 		0.25	<ul style="list-style-type: none"> 卒前地域医療／プライマリ・ケア教育に関する講義の計画・実施、臨床実習開始前の医療面接実習の実施、模擬患者参加型医療面接セミナーの開催、地域の医療機関における学生実習の調整、訪問診療実習施設を新たに3施設追加、訪問診療実習のオリエンテーションの一環として訪問診療同行シミュレーション実習の開発・実施、総合診療センター外来での学生実習担当、研修医に対する病棟急変対応シミュレーショントレーニングの開発・実施、臨床研修指導医養成セミナー、ハワイ沖縄医学教育フェローシップでの講習を実施した。 	
研究	0.10	<ul style="list-style-type: none"> 地域医療教育に関する研究 臨床研修指導医養成セミナーの評価に関する論文投稿 		0.10	<ul style="list-style-type: none"> 地域医療教育に関する研究について、「地域医療臨床実習の期間延長による医学生の認識変化について」を第116回沖縄県医師会医学学会にて発表した。琉球大学学生学習サポート事業の一環として実施した「地域医療を学ぶためのPBL」の試みを第45回日本医学教育学会にて発表した(演題名「学生チューター利用による大教室での問題基盤型学習(PBL)の試み」)。臨床研修指導医養成セミナーの評価に関する論文は進行中である。 	
社会貢献	0.10	<ul style="list-style-type: none"> 沖縄プライマリ・ケア研究会の幹事を担当 公立久米島病院への定期的な診療応援 多施設プライマリ・ケアwebカンファレンスへの参加、レクチャー担当 沖縄県委託事業「健康行動実践モデル事業」ワーキンググループ担当 		0.10	<ul style="list-style-type: none"> 沖縄プライマリ・ケア研究会の幹事を担当した。公立久米島病院への定期的な診療応援(月2回)を継続した。Web会議システムを利用した多施設プライマリ・ケアwebカンファレンス・レクチャーシリーズに参加し、カンファレンス・レクチャーを計2回担当した。沖縄県委託事業「健康行動実践モデル事業」ワーキンググループに参加した。 	
管理運営	0.30	<ul style="list-style-type: none"> 琉球大学医学部附属病院卒後臨床研修センター員として、研修プログラムの立案、地域医療研修の調整、指導医養成セミナーへの支援 沖縄プライマリ・ケア専門研修コースプログラム責任者を担当 琉球大学医学部医学教育企画室員として、離島地域病院実習、地域医療を学ぶための学生セミナーに対する支援 琉球大学医学部医学科教育連絡主任 共用試験医学系OSCE「医療面接」を担当 総合診療センター運営協議会 委員 リスクマネジャー連絡会議 委員 琉球大学医学部附属病院クリニカル・シミュレーションセンター事業推進委員会委員 ハワイ沖縄医学教育フェローシップ実行委員 		0.30	<ul style="list-style-type: none"> 琉球大学医学部附属病院医師キャリア支援センター(旧卒後臨床研修センター)員として、初期臨床研修プログラム(先島プログラム「美ぎ島」含む)・地域医療研修の調整を行なった。指導医養成セミナーにてタスクフォースを担当した。プライマリ・ケア専門研修プログラムを作成し、日本プライマリ・ケア連合学会認定後期プログラムとして認定を受けた。琉球大学医学部医学教育企画室員として、「地域医療を学ぶためのPBL」の企画・実施、離島地域病院実習において久米島病院実習担当、「地域医療を学ぶための学生セミナー」を企画運営した。琉球大学医学部医学科教育連絡主任、総合診療センター運営協議会委員、リスクマネジャー連絡会議委員、琉球大学医学部附属病院クリニカル・シミュレーションセンター事業推進委員会委員として会議に参加した。共用試験医学系OSCE「医療面接」の副責任者を担当し、医療面接実習のための模擬患者およびOSCE標準模擬患者を新たに育成した。ハワイ沖縄医学教育フェローシップの実施調整を行った。 	
進路指導	0.10	<ul style="list-style-type: none"> 地域卒学生や地域医療に関心のある学生の支援 		0.05	<ul style="list-style-type: none"> 地域卒学生や地域医療に関心のある学生に不定期にアドバイスを行った。 	
診療	0.20	<ul style="list-style-type: none"> 総合診療センター外来における外来診療 禁煙外来 救急部診療応援(月1回) 		0.20	<ul style="list-style-type: none"> 総合診療センター外来における外来診療、禁煙外来を行った。 救急部診療応援(月1回)を継続した。 	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		玉城佑一郎	所 属		医学部・医学研究科
			職 名		講師
領域	業務 ウエイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウエイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果
教育	0.50	学内救急医療講義で救急医療について講義教育する。臨床実習で救急現場において経験させ救急診療やプレゼンテーション力を養う。初期臨床研修医への救急診療教育、多職種への医療安全教育を行う。ERへ出向する各科医師への救急医療教育と専門知識の相互交流の場を作る。		0.50	これまでなかった研修医や医学部学生、各科出向医へのレクチャーを開始、また各科出向医にもレクチャーを依頼、専門医の救急疾患レクチャーを行って頂く事で救急部医師を含めた最先端の考え方を学習する事が出来、教育面で目標としていた事を開始する事が出来た。大学始まって以来の研修医の救急車同乗実習をカリキュラムに組み込む事が出来ようになった事は大きかった。しかしながらプレゼンテーション力については個人差があるため個別に指導する事が望ましかったが、その指導を行う事が出来なかった。
研究	0.02	重症患者の集中治療や呼吸療法に関する臨床的研究を進める。救急受診時にトリアージを行う事で医療行為効率の変化について研究を進める。災害医療については日本における災害の研究および米国災害医療システムと比較しながら研究を進める。		0.02	研究症例を挙げたのみで項目内容を実施する事が全く出来ておらず、今回の評価内容で反省する点。
社会貢献	0.02	アメリカ心臓協会(AHA)による心肺蘇生講習のトレーニングサイト(TS)に関わり、多くの県内医療従事者や一般市民への研修を手助けしていく。各スポーツイベントの医療に携わりながら救急医療を生かしていく。人手の足りない他の救急診療を手助けしていく。		0.02	トレーニングサイトへも積極的に参加しインストラクター資格を取り、医学部学生や医療従事者へ指導する事が出来た。各スポーツイベントへの医療指導やアドバイスも行う事が出来た。しかし市民への指導は指導出来ていない。
管理運営	0.06	救急外来での感染対策や診療方法などの見直しなど、問題点を挙げながら運営に関わっていく。		0.06	研修医や医学部学生、出向医へ手技を含めた感染対策を指導を行う事が出来たが、まだ足りない指導部分もあった。次につなげる問題点を挙げながら今後も続けていく事が重要と思われた。
進路指導	0.10	医学部医学科学生の部活や医療ボランティア活動に携わり指導に努める。臨床実習時に地域枠の学生、救急部にローテーションする初期臨床研修医と診療を一緒に行いながら救急診療の重要性を教え指導し、将来この分野を専門とする医師または救急医療に関わる医師の育成に努める。		0.10	各種スポーツにおけるボランティア活動の指導や助言を行い、研修医への指導を昨年以上に行う事が出来たが、まだまだ自分に時間的な余裕がなかった事もあり不十分な内容であった部分もあったがプライマリーケアを含めた医療行為は出来るだけの指導をする事が出来たと思われる。何よりも指導医を少しずつでも育てる事が出来るようになった事は大きいと思われた。
診療	0.30	救急車患者受診数や入院患者数を増やし黒字転化に貢献していく		0.30	患者受診増加と入院患者数増加は目標以上を達成する事が出来た。
計	1.00	・ウエイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		淵上 竜也	所 属		集中治療部
			職 名		講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果
教育	0.20	学生・研修医にたいし院内最重症例を収容するICUスタッフを指導・養成するために呼吸・循環・代謝といった重要臓器の臓器障害の診療に関する知識・技術の教育を行う。併せて人工呼吸器など生命維持装置を含む医療安全の啓蒙をおこなう。		0.20	学生・研修医にたいし院内最重症例を収容するICUスタッフを指導・養成するために呼吸・循環・代謝といった重要臓器の臓器障害の診療に関する知識・技術の教育を行った。併せて人工呼吸器など生命維持装置を含む医療安全の啓蒙をおこなった。
研究	0.15	基礎研究(遅発性脊髄障害とDセリン～ノックアウトマウスを用いた研究～)だけでなく、当院集中治療部におけるPMX-DHPの敗血症治療への有効性に関する研究や新しい人工呼吸モード(適応補助換気)を用いた心臓大血管手術後の呼吸管理に関する研究を行い当該学会での発表や論文作成を行う。		0.15	基礎研究(遅発性脊髄障害とDセリン～ノックアウトマウスを用いた研究～)だけでなく、当院集中治療部における新しい人工呼吸モード(適応補助換気)を用いた呼吸管理に関する研究を行い当該学会での発表を指導し関連する論文作成を行った。
社会貢献	0.15	県北部の基幹病院をはじめ麻酔科医不足の医療機関への派遣によって、安全な術中管理に貢献する。大学内での診療経験や研究から得られた知見を内外の医療従事者に講演する。		0.15	本島南部および北部を含む地域の麻酔科医が不足している医療機関への派遣によって、安全な術中管理に貢献した。大学内での診療経験や研究から得られた知見を県内外の医療従事者に講演した。
管理運営	0.10	集中治療部のリクスマネージャーとして職場の医療安全に指導監督者的立場で取り組む。部署内外のインシデントを同僚に伝える。部署内でのインシデントが発生した場合、再発防止策を作り実行する。		0.15	集中治療部のリクスマネージャーとして職場の医療安全に指導監督者的立場で取り組んだ。部署内でのインシデントが発生した場合、再発防止策を作り実行した。幸い重大事象はなかった。
進路指導	0.05	麻酔・集中治療領域の専門家を目指す学生、研修医、看護師に対し最適な進路選択ができるように可能な限り情報提供を行う。		0.05	麻酔・集中治療領域の専門家を目指す学生、研修医、看護師に対し最適な進路選択ができるように可能な限り情報提供を行った。
診療	0.35	院内の手術麻酔、集中治療に従事し安全な周術期管理に貢献する。県内唯一の大学病院の集中治療室として高度で専門性の高い診療を行う。		0.30	院内の手術麻酔、集中治療に従事し安全な周術期管理に貢献した。県内唯一の大学病院の集中治療室として高度で専門性の高い診療を行った。
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		山城 剛	所 属		輸血部
			職 名		講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果
教育	0.10	琉球大学医学部学生、研修医に対して、血液製剤の適正使用に関する知識と副作用の知識、対処法に関して教育を行う。日本肝臓病学会指導医として学生、研修医に対して、肝臓病に関する講義を行う。研修医、学生に腹部超音波検査の指導を行う。		0.05	・・・血液製剤の適正使用に関する少人数制のレクチャーを医学部学生に対して行った。肝臓病学の講義をM4学生に行った。腹部超音波について研修医、学生に対して1カ月に2回、現場で指導、講義を行った。
研究	0.05	マイクロアレイ、モデルマウスを用いた非アルコール性脂肪性肝炎の病態解明		0.05	・・・論文作成中。
社会貢献	0.20	日本肝臓学会専門医、指導医として沖縄中部地域の肝臓病患者の診療にあたる。消化管内視鏡検査は消化器癌の早期発見に重要な検査であるが、沖縄県は需要に対する内視鏡専門医の絶対数が少ない。地域病院の要請に応じ、消化管内視鏡専門医として社会貢献を行う。		0.20	・・・沖縄中部地区中核病院にて肝臓専門外来を週に1回行っている。消化器がんの早期発見のため、下部消化管内視鏡検査を地域病院の要請に応じ、週に1回行っている。
管理運営	0.50	琉球大学医学部附属病院輸血部副部長として、輸血部業務の管理運営を行う。医学部附属病院における針刺し事故に対する迅速な対応が可能となるよう各科の連携体制を構築し、その維持に努める。		0.60	・・・附属病院において安全で適切な輸血部業務が常に行われるよう管理を行った。針刺し事故などに関しては速やかな処置と、その後の定期的な観察をおこなった。
進路指導	0.00			0.00	
診療	0.15	日本肝臓病学会専門医、指導医として附属病院肝臓内科外来にて診療を行う。		0.10	・・・附属病院にて肝臓専門外来を行った。
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		山本 俊成	所 属		医療情報部	職 名		講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果		
研究	0.35	<ul style="list-style-type: none"> ・学会での査読付き学術発表にエントリーする ・今後の研究を進めるためのリソースを蓄積する(今年度の学会では発表しないもの) 			0.25	<ul style="list-style-type: none"> ・研究内容がISOの標準化の進捗と係わるため、ISO標準化のサポートを優先し、今後の研究を進めるためのリソースを蓄積した。 ・国際会議の開催をサポートし、会議中双方の理解を深めるための仲介役を務めた。 		
社会貢献	0.15	<ul style="list-style-type: none"> ・ISO(国際標準機構)の International Expert の活動をサポートし、世界及び国益に貢献する 			0.25	<ul style="list-style-type: none"> ・第1四半期にメキシコシティで開催されたISO TC215の国際会議に必要な情報収集をサポートした。 ・第3四半期にシドニーで開催されたISO TC215の国際会議に必要な情報収集をサポートした。 		
管理運営	0.50	<ul style="list-style-type: none"> ・総合情報処理センターと連携しながら院内RAINSを維持運営する ・病院ポータルサイトの再構築および管理運営 ・他部門のネットワーク環境の構築についてアドバイスする ・感染対策実務者会議に参加する 			0.50	<ul style="list-style-type: none"> ・常時サーバ監視プログラムの報告の対処及び定期的な保守を行っている。 ・新しい仮想化したサーバの設計を行い、実装の作業を行っている。 ・脆弱性検知ソフトウェアも活用しながら、稼働しているサーバの脆弱性に対処し、より強固な侵入防止体制を維持している。 ・計画停電によるインシデントの防止および対処を実施した。 ・ウェブサーバにあるプログラムコンテンツを精査し、他部署で発生したインシデントに対処した。 ・老朽化したネットワーク機器やUPS等の故障によるインシデントに対処し、必要な報告と提言をした。 ・他部署からの問合せに対処し、安定した接続ができるネットワーク環境を維持している。 ・総務課より依頼された病院ホームページの更新を行った。 ・他部門のホームページ更新や新設のサポートやアドバイスを行った。 ・積極的に感染対策実務者会議に参加し、対策等を確実に部員に周知した。 		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		正本 仁	所 属		産婦人科
			職 名		准教授
領域	業務 ウエイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウエイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果
教育	0.20	近年の周産期・生殖医学の学術的・技術的發展、医療的倫理を反映した講義を行う(例:DOHaD理論、出生前診断、胎児治療などの新しい考えの紹介)。		0.20	左記の疾患に関する講義の中で、臨床的事例、現状の問題点、他科と連携した新しい術式を紹介した。妊娠中の子宮内環境が児出生後から成人期におよぼす影響について、新しい知見を示した。
研究	0.20	英文学術論文を1編以上作成し、学術雑誌への採用を目指す。当科で経験した前置癒着胎盤例への骨盤動脈balloon留置術や子宮内balloon tamponadeに関するdata、精神疾患合併妊娠の管理に関する研究、妊娠糖尿病の治療成績や治療上の問題点についての臨床的検討について学会、ワークショップなどで対外的に発信する。		0.20	前置癒着胎盤例への骨盤動脈balloon留置術や癒着胎盤の新しい診断法に関して全国学会で発表し支持的意見を得た。筆頭著者としての英文論文作成は出来なかった。
社会貢献	0.20	研究、診療、学会活動を通じて得た医学的知識、経験を公開講座などを通して広く提供し、県民の健康向上に貢献する。		0.20	沖縄産婦人科学会雑誌のreviewerとして他施設医師の論文査読を通し医学知識の啓発をはかった。卒後臨床研修センター副センター長として、県内医療機関の指導医に対して指導医講習会を主催した。宮古島市での市民公開講座で講演した。県内のco-medicalの人たちを対象に、精神疾患合併妊娠のcareに関する公開講座を主催した。
管理運営	0.10	医師キャリア支援センターの副センター長に就任しており、充実した研修プログラムの作成、運営にあたる。地域周産期センターである当周産母子センターの産科周産期部長として、臨床研究および診療の充足に努める。		0.10	医師キャリア支援センター副センター長として、県内の指導医講習会を主催した。周産母子センター副センター長として診療体制の充足に努めた。周産母子センターの年間実績についてまとめ、周産期新生児学会へ報告、ホームページ上での公開した。
進路指導	0.10	医学部教官として、診療、学会参加や他施設との交流を通して知りえた初期臨床研修や後期専門研修に関する情報を学生によく提供し、進路選択の助言を行う。		0.10	左記の事項に関して、初期および後期臨床研修医に対してはよく行えた。学生に対しては、講義をとおして後期専門研修に関する情報を学生によく提供できたが、進路選択の助言までは至らなかった。
診療	0.20	周産母子センターにおける合併症妊娠例に関し、他科と連携した産科治療を充足させる。		0.20	総分娩数、合併症妊娠の症例数は昨年と同等。特に精神疾患合併妊娠例が昨年同様に多く、精神科と連携した治療を多く経験した。
計	1.00	・ウエイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		銘苺 桂子	所 属		琉球大学医学部附属病院 周産母子センター
			職 名		講師
領域	業務 ウエイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウエイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果
教育	0.23	1. 講義内容の充実(臨床に即し、わかりやすい内容) 2. 生殖医療専門医の育成 3. 腹腔鏡技術認定医の育成 4. 研修医、後輩医師の教育、学会発表の指導 5. 胚培養士の育成		0.20	1. 講義内容の充実(臨床に即し、わかりやすい内容)が図れた。 2. 生殖医療専門医の育成のため指導を行った。 3. 腹腔鏡技術認定医の育成のため指導を行った。 4. 研修医、後輩医師の教育、学会発表の指導を行った。 5. 育成中の胚培養士が生殖医療胚培養士の資格を取得した。
研究	0.20	1. 科学研究費補助金による研究の実施 2. 学会誌への投稿、発表 3. 学会での発表 4. 学会内の委員活動 5. 市販後臨床試験の実施		0.20	1. 科学研究費補助金による研究を開始し継続中である。 2. 学会誌への投稿し採用された。 3. 学会での発表を行った。 4. 学会内の委員活動(内視鏡学会、九州生殖医学会)を行った。 5. 市販後臨床試験を行った。
社会 貢献	0.05	1. 県医師会女性医師部会役員としての活動 2. 学外での産婦人科疾患の啓蒙(啓発)活動 3. 生殖医学会九州支部への評議員としての参画		0.05	1. 県医師会女性医師部会役員として学内講義、学内ML立ち上げを行った。 2. 産婦人科疾患の啓蒙(啓発)活動として投稿や新聞取材を受けた。 3. 生殖医学会九州支部への評議員としての参画を行った。 4. 内視鏡学会技術認定医施設認定委員としての活動を行った。
管理 運営	0.10	1. 副医局長としての活動 2. 学部内委員会出席 3. 体外受精・胚移植施行施設管理 4. 院内託児所設置委員としての活動		0.10	1. 副医局長としての活動を行った。 2. 学部内各種委員会に出席した。 3. 体外受精・胚移植施行施設管理を安全に施行しえた。 4. 院内託児所設置委員としての活動し無事開設した。
進路 指導	0.02	1. 県医師会女性医師部会役員として県内女性医師や学部内女性医学生からの進路相談		0.05	1. 県医師会女性医師部会役員として県内女性医師や学部内女性医学生からの進路相談を行った。 2. 医学生に対するキャリアプラン講義を行った。
診療	0.40	1. 安全に十分配慮した医療 2. 患者さんへの説明と同意を十分に得て行う医療 3. 生殖・内分泌治療成績の向上 4. 腹腔鏡下手術件数の増加 5. 腹腔鏡手術適応症例の拡大		0.40	1. 安全に十分配慮した医療を行った。 2. 患者さんへの説明と同意を十分に得て行う医療を行った。 3. 生殖・内分泌治療周期の増加と成績の向上が得られた。 4. 腹腔鏡下手術件数の増加が得られた。 5. 腹腔鏡手術適応症例の拡大が得られた。
計	1.00	・ウエイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		吉田朝秀	所 属		医学部附属病院 周産母子センター	職 名		講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果		
教育	0.20	学部担当科目(未熟児新生児、消化器疾患)を担当し、系統講義、クリニカルクラークシップ医学生に対してベッドサイドティーチング等を行う。初期研修、後期研修医のへの研修指導を行なう			0.20	系統講義、クリクラ学生に対してベッドサイドティーチング等を行った。初期研修、後期研修医のへの研修指導を行った。研修医のシュミレーション教育の講師を務めた。		
研究	0.20	新生児医療に関する学会活動、研究論文の投稿を行う。			0.20	周産期新生児学会、九州小児科学会へ参加し発表した。沖縄新生児研究会で新たに共同研究に着手し結果を未熟児新生児学会で発表した。		
社会貢献	0.10	南部地区周産期ネットワーク活動を通して地域の周産期医療の充実に貢献する。継続して新生児蘇生法のインストラクターとして普及活動に従事する。小児保健協会等の公益に関わる団体の理事として活動する。			0.10	沖縄県周産期ネットワーク協議会委員として『周産期情報共有システム』の整備に着手し、来年度より稼働する事が決定した。周産期医療の充実に貢献した。新生児蘇生法インストラクターとして活動した。		
管理運営	0.10	医局長会議、周産母子センター運営委員会、輸血療法委員会その他臨時の会議に参加する。			0.10	集中治療部、周産母子センター、輸血療法委員会、保険診療委員会など病院運営に関わる会議に参加した。院内病児保育室開設ワーキンググループを主導し、開設に貢献した。		
進路指導	0.10	周産期専門医養成文部科学省「周産期医療環境整備事業(人材養成環境整備)」による補助事業「周産期医療専門医育成プログラム」の活動を継続する。			0.10	周産期専門医養成文部科学省「周産期医療環境整備事業(人材養成環境整備)」による補助事業「周産期医療専門医育成プログラム」を主導し、広報活動をおこなった。学生施設見学会や研修医への講演会を企画運営した。		
診療	0.30	附属病院での診療を通して健康維持に貢献し未熟児医療の改善を目指す 市中病院、乳児健診を通して情報の収集と診療技術の向上をめざす。			0.30	未熟児新生児室への入院数が昨年度を上回り、過去最高となった。市中での救急診療、乳児健診に従事した。予防接種施行に際してアドバイス、講義を行うなど貢献した。		
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)						
名 前		平敷 千晶	所 属	産婦人科	職 名	助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果	
教育	0.20	3年次からの産婦人科系統講義日程を調整する。個人としては不妊、内分泌、妊娠の機序に関する講義を行う。		0.20	系統講義は臨床に即したものとなるよう内容を検討し行った。臨床実習においては手術や外来診療へも積極的に参加してもらうよう促した。	
研究	0.30	体外受精・胚移植における採卵決定時期、また胚盤胞移植の治療成績に関する研究を行い、生殖医学会、受精着床学会などにおいて成果を発表し論文とする。		0.30	第58回日本生殖医学会学術講演会において採卵後6日目に凍結した胚盤胞を用いた融解胚移植の治療成績について発表した。第37回沖縄産科婦人科学会において腹腔鏡下に治療した帝王切開癒痕部妊娠について発表した。	
社会貢献	0.05	沖縄県医師会女性医師部会のフォーラムに参加し、女性医師のライフワークバランスについて検討する。		0.05	沖縄県女性医師フォーラムワークショップにおいて、産婦人科の現状、専門医取得などについて討論し、提言をまとめた。	
管理運営	0.00			0.00		
進路指導	0.05	将来の沖縄県における産婦人科医師増加に寄与するべく教育に当たる。		0.05	産婦人科臨床に興味を持ってもらえるよう学生、研修医の指導を心掛けた。	
診療	0.40	一般不妊治療、高度生殖補助医療、産婦人科内視鏡手術に従事する		0.40	一般不妊治療、体外受精・胚移植ともに現在得られるエビデンスに基づいた治療を行った。不妊治療にて成立した妊娠症例の周産期予後を評価し日本産科婦人科学会へ報告した。適応のある症例には低侵襲手術である腹腔鏡手術を行い、特に合併症の発生は認めなかった。	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		長崎 拓	所 属	周産母子センター	職 名	助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果	
教育	0.30	複雑化を増す状況では、変わりやすい先端理論より変わらない一般性の高い理論への価値見直しを伝えること。		0.30	概ね達成	
研究	0.20	未熟児網膜症発症機序における栄養療法の影響について		0.20	達成	
社会貢献	0.00			0.00		
管理運営	0.00			0.00		
進路指導	0.00			0.00		
診療	0.50	NICU入院管理、新生児外来及び新患再来外来の担当		0.50	概ね達成 (新生児外来 新患再来外来)	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		安里 こずえ	所 属		医学部付属病院周産母子センター
			職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果
教育	0.20	クリニカルクラークシップの医局担当として、指導、教育、評価を行う。周産期分野で異常妊娠(多胎、血液型不適合妊娠、異所性妊娠)に関して臨床講義を行う。また、女性生殖器の系統講義を行う。		0.20	周産期分野で異常妊娠に関する臨床講義を行った。また、女性生殖器の系統講義と妊娠成立についての講義を行った。臨床実習生に対しては2週間に1回のレポート指導をおこなった。クリニカルクラークシップの医局担当医として会議に出席し、当科実習時のオリエンテーションや指導を行った。
研究	0.20	昨年度研究した、IVF妊娠における絨毛膜下血腫発生とそのリスク因子に関して、英文論文を作成し投稿する。また、昨年度研究した、筋腫合併不妊症患者の治療と妊娠転帰に関して、論文作成する。さらに、IVF妊娠におけるvanishing twinの妊娠予後に及ぼす影響に関して、後方視的に研究し学会報告する。		0.20	去年度研究した、IVF妊娠における絨毛膜下血腫発生とそのリスク因子に関して、英語論文を作成、 <i>International journal of gynecology and obstetrics</i> に投稿予定である。IVF妊娠におけるVanishing twinの妊娠予後に及ぼす影響に関して研究し、九州生殖医学会・九州支部会と日本生殖医学会で学会報告を行った。
社会貢献	0.05	県内、離島の子宮癌検診依頼を取りまとめ、医師の派遣、運営日程などを調整する。沖縄女性医師フォーラムなどの会に可能な限り参加し、女性医師の抱える問題に関して考えていく。		0.05	女子医学生、女性医師の抱える問題や意見を傾聴し、アドバイス等を行った。県内、離島の子宮癌検診依頼を取りまとめ、運営日程を調整し、医師の派遣を行った。
管理運営	0.10	クリニカルクラークシップの会議、運営に携わり、指導、評価を担当する。おきなわクリニカルシュミレーションセンターの会議・運営に携わり、手技の指導・マニュアル作成などを行う。また、卒業試験、総合試験、ポリクリ移行試験などの問題作成、試験監督、採点、評価の業務に携わる。		0.10	クリニカルクラークシップの会議、運営に携わり、指導要綱の作成、オリエンテーション、指導を行った。また、クリニカルシュミレーションセンターでの分娩実習を計画し、2週間に1回施行した。新卒医師を対象にシュミレーターを用いた挿管指導に携わった。技能試験(OSCE)の実習と試験監督業務を行った。
進路指導	0.05	今後の医師として進むべき進路や、学習の方法など、臨床実習生や初期臨床研修医の意見を傾聴し、指導を行う。		0.05	臨床研修中の学生や初期臨床研修中の医師に対し指導をおこなった。後期臨床研修医の助産介助、専門医試験に関して指導、アドバイスを行った。
診療	0.40	婦人科良性疾患に対する腹腔鏡下手術や不妊症患者に対する腹腔鏡精査を実施する。また、一般不妊治療、体外受精治療を行いながら、月経不順、思春期早発症、更年期障害などの治療を行う		0.40	一般不妊治療、体外受精などの生殖補助医療業務、良性疾患、更年期障害、月経異常に対する診療、良性疾患に対する腹腔鏡手術などを行った。
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		青山 肇	所 属		医学部附属病院病理部
			職 名		特命助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果
教育	0.25	1.臨床実習における学生の指導を行う。その際、個々の症例の捉え方を的確かつ丁寧に指導できるように知識の充実を図る。2.病理部に研修に来る初期研修医の指導を行う。その際に組織の顕微鏡的観察だけでなく、肉眼診断の重要性、臨床情報の理解が重要であることを認識させる。		0.25	病理部の臨床実習医学生および初期研修医に対して、実際の検体を用いた病理診断の指導を行った。また教育CPCを通じて、臨床における病理解剖の重要性を認識させた。
研究	0.25	1.外科病理組織を用いた病理学的な研究を確立し、学会発表や論文作成を目指す。2.後期研修医や初期研修医の学会報告の指導を行う。3.科学研究費補助金の獲得を目指す。		0.25	日本病理学会総会での学会発表を行った。また後期研修医の学会発表の指導を行った。
社会貢献	0.15	離島を含む県内各病院の病理診断・病理解剖に従事する。		0.15	離島を含む県内各病院の病理診断・病理解剖に従事した。
管理運営	0.05	病理部内の業務が円滑に進むよう、様々な管理業務やミーティングを行う。		0.05	病理部内の業務が円滑に進むよう、様々な管理業務やミーティングに参加した。
進路指導	0.05	医学生および初期研修医に対して、進路決定の参考となるよう病理学・病理診断の実際についての情報を提供する。		0.05	実習以外にも病理研修説明会などにおいて、医学生および初期研修医に対して病理診断の重要性を説明した。
診療	0.25	1.大学病院における病理診断業務を行う。2.臨床各科とのカンファレンスに積極的に参加する。		0.25	1.大学病院における病理診断業務を行った。2.臨床各科とのカンファレンスやカンサーボードに積極的に参加した。
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		金城福則	所 属		医学部附属病院・光学医療診療部
			職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果
教育	0.25	1.臨床実習における消化器疾患診療の基本を理解してもらう。2.系統講義における消化器疾患の診断学、機能的疾患と腸管感染症の病態、診断と治療について理解してもらう。3.日常診療で得られる貴重な臨床症例を授業に反映させる。		0.20	1.臨床実習を行うにあたって、第一内科の外来診療時に行っていた指導が日程の都合で中止となり、役割を果たせなかった。2.系統講義を担当するにあたっては十分に役割を果たせた。3.臨床症例も授業に十分に活用できた。
研究	0.30	1.炎症性腸疾患の治療法についての確立に努める。2.消化管がん検診における有効なスクリーニング方法の確立に努める。3.消化器関連学会での教育講演、評議員など役員としての活動を継続する。4.第37回日本消化器内視鏡学会セミナーの会長としての役割を果たす(2013年5月開催)。		0.30	1.厚生労働省の炎症性腸疾患調査研究班の治療指針の作成に関与した。2.消化管がん検診の精度管理に関与した。3.消化器関連学会の役員として、消化器疾患に関する多施設共同研究も行っている。4.第37回日本消化器内視鏡学会セミナーの会長として、1,200名余の参加を得て盛会裡に終え、役割を果たした。
社会貢献	0.10	1.難治性炎症性腸疾患患者のセカンドオピニオンを受ける。2.消化管がんの検診の必要性についての啓発活動を継続する。3.沖縄県におけるがん検診精度管理を継続する。4.その他沖縄県の地域医療に貢献する。		0.10	1.NPO法人アンビシャスや宮古保健所管内で難治性炎症性腸疾患患者を対象に医療相談を行った。2.胃・大腸がん検診従事者を対象とした講演会を企画・実施した。3.沖縄県における消化管がん検診の精度管理を行った。4.沖縄県内の医療機関における医療相談や指導も行った。
管理運営	0.20	1.消化器内科(未設置)、光学医療診療部の充実を計る。		0.20	1.消化器内科の設置に向けて、中期計画案に対して提言したが、実現は困難であった。光学医療診療部の設備充実に向けて努力しても、現病院での実現は困難であった。内視鏡技師(看護師)の資格者を育成できた。
進路指導	0.05	1.後期研修における消化器内科専攻希望者の確保に努める。		0.05	1.後期研修医の確保に難渋している中、消化器専門医を志す医師を、平成25年度は1名しか確保できなかった。
診療	0.10	1.外来患者の紹介率の向上に努める。2.光学医療診療部の検査件数の増加に勤める		0.15	1県内だけでなく、他府県からの紹介患者も増加している。病病・病診連携も良好に行われた。2.光学医療診療部の検査件数に関しては例年と大きな変化はなかったが、治療内視鏡の件数が著しく増加した。
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		金城 渚	所 属		光学医療診療部
			職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果
教育	0.25	医学部学生への臨床講義を半年に1~2コマ担当する。ポリクリ実習生、研修医、後期研修医、また消化器病・内視鏡専門医をめざす医師に対し消化器内視鏡全般の指導を行う。消化器病学会、内視鏡学会、消化器がん検診学会を中心に年に数回発表もしくは発表時の指導を行う。		0.25	医学部学生への臨床講義を半年に1コマ担当した。ポリクリ実習生、研修医、後期研修医、また消化器病・内視鏡専門医をめざす医師に対し消化器内視鏡全般の指導を日々の診療を通して行った。消化器病学会、内視鏡学会、消化器がん検診学会を中心に数回以上発表(共同演者)し発表時の指導を行い、達成度は90%以上である。
研究	0.20	ラオス国セタティラート病院における内視鏡技術移転について現地ラオス人医師とメールにて内視鏡所見データのやり取り、データの解析を進めている。2013年9月にはラオス人医師の更なる内視鏡技術支援目的に短期滞在での研修を当科において予定している。		0.20	ラオス国セタティラート病院における内視鏡技術移転について現地ラオス人医師とメールにて内視鏡所見データのやり取りを行った。内視鏡技術移転についてホームページ http://www.ryukyu-med1.com/pages/project_kokusai.html に記載した。平成25年10月27日から11月24日にはラオス人医師(Dr Khamkeuth KEOMOUNMANY)の更なる内視鏡技術向上目的に研修を当科で行った。
社会貢献	0.20	2013年5月に開催される第37回日本消化器内視鏡学会セミナー(世話人:琉球大学医学部附属病院 光学医療診療部 部長 金城福則)の事務局長としてセミナー運営準備中である。また2013年9月には第43回日本消化器がん検診学会九州地方会の会長を拝命し運営準備中である。		0.20	平成25年5月12・13日に開催された第37回日本消化器内視鏡学会セミナー(世話人:琉球大学医学部附属病院 光学医療診療部 部長 金城福則)の事務局長として学会運営を行い滞りなく運営できた。また平成25年年9月7日には第43回日本消化器がん検診学会九州地方会の会長として学会運営を行った。
管理運営	0.25	日々の内視鏡業務運営がトラブルがなくスムーズに行えるよう心がけている。具体的には、安全管理対策報告、不定期ではあるが関連診療科(光学、第1内科、第1外科、第2外科)間の協議:光学医療診療部小委員会を1~2カ月に1回開催している。		0.25	半年間で内視鏡業務に支障をきたすようなトラブルはなかった。左欄の光学医療診療部小委員会を1~2カ月に1回開催してきた。達成度は90%以上である。
進路指導	0.05	これまでに進路指導の経験は無い。消化器疾患の中で主とする専門分野として、細分化された上部消化管疾患、下部消化管疾患、肝胆膵疾患について大まかな説明は可能であり、これまでも相談を受けてきた。		0.05	進路指導については、達成度90%以上と考える。
学外活動	0.05	沖縄消化器内視鏡会 50周年記念事業として沖縄県内の胃癌症例についてデータの収集・解析と報告を企画しており、現在、データの分析中である。2013年7-8月に報告を行うよ予定である。		0.05	沖縄消化器内視鏡会 50周年記念事業として沖縄県内の胃癌症例418例についてデータの収集・解析を行った。沖縄消化器内視鏡会 50周年記念誌の24-39頁に掲載し、平成25年7月27日(土)に開催された同会 総会にて報告を行った。
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

がんセンター

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名前	増田 昌人		所属	附属病院 がんセンター	
職名			特命准教授		
領域	業務ウエイト比(予定)	平成25年度 年度目標設定	業務ウエイト比(実績)	平成25年度 年度末自己点検結果	
教育	0.10	治療学(臨床腫瘍学)および血液学(貧血)講義の分担者として、前年の講義終了後のアンケート調査結果を基に、講義内容や講義用スライド等の講義用資料を改善する。研究業績を講義内容に反映するよう努力する。FDIに参加する。	0.10	<p>昨年の学生の授業終了後の独自のアンケート調査結果を踏まえて、臨床腫瘍学は講義スライドの半分程度を、貧血学では殆どの講義用資料(講義用スライドも含む)を入れ替えた。</p> <p>厚労省科研究班での研究成果、特にがんに関する情報提供とがん医療の質の評価に関して、講義に取り入れて学生に説明した。</p> <p>今年も講義終了後に、講義に関するアンケート調査を行い、次年度の講義の改善のためのデータ収集を行った。</p> <p>FDIに参加した。</p> <p>保健学科より講義を委託され、臨床腫瘍学の講義を行った。</p>	
研究	0.30	学会での報告発表、学会誌への投稿等を行う。学会評議員等として、学会を通じた研究活動を行う。外部資金を獲得する。国立がん研究センターがん対策情報センターと東京大学公衆衛生学教室との共同研究を継続する。	0.25	<p>がん医療の質を評価し向上させる研究を国立がん研究センターと東大との共同で行っており、その成果を11月のAmerican Society of Clinical Oncology (ASCO)'s Quality Care Symposiumで2演題発表した。</p> <p>外部資金としては、①厚労省科研究費1件、②受託研究費(国立がん研究センター)1件、③公益財団法人在宅医療助成奨励金1件、④沖縄県から4件を獲得し、公益財団法人塩川記念保健協力財団に1件採択された。</p> <p>日本臨床腫瘍学会評議員、広報委員・学会査読・専門医試験査読/評価、日本連血細胞移植学会評議員、ドナーの安全検討研究WG、ATL研究WG、後期合併症とQOL研究WG、日本検査血液学会評議員として学会活動、研究活動に貢献した。</p>	
社会貢献	0.20	学外の沖縄県、国立がん研究センター等の審議会や委員会等の委員として参画する。学外の研修会や講演会の企画や講師として参画する。がん対策のためのタウンミーティングを通じて、沖縄県に地域貢献する。	0.20	<p>国会議員で構成する超党派議員連「国会がん患者と家族の会」に対して、がん登録の専門家の一員として招かれ、専門家の立場から意見を述べ、国会、参議院法制局とも協力し活動を行い、12月6日にいわゆる「がん登録推進法」法案を成立させることに微力ながら貢献した。</p> <p>沖縄県がん診療対策協議会(県知事の諮問委員会)委員、沖縄県がん診療連携協議会委員兼事務局、同幹事会会長を務めた。</p> <p>国立がん研究センターがん登録研修専門講師・パネル委員として、全国で行われている厚労省委託国がん主催の研修会のカリキュラム作成に携わった。</p> <p>厚労省科研究費および日本対がん協会共催の研修会等で講師等を務めることによって、がんに関する情報提供を通じて社会貢献した。</p> <p>琉球大学医学部医学科同窓会会長として、本学医学科卒業生の福利厚生、在学生への医師国家試験研修会等を主催することにより貢献した。</p> <p>がん対策のためのタウンミーティングを2回開催し、沖縄県に地域貢献した。</p> <p>沖縄県福祉保健部の依頼により、がん検診の広報TV番組とラジオ番組の企画・出演を行い、がん検診の普及活動で貢献した。</p>	
管理運営	0.20	がんセンター長として、がんセンターの運営を行う。沖縄県がん診療連携病院の指定要件を満たすために、積極的に病院の各部署に働きかけを行う。沖縄県がん医療の質の評価センター長、沖縄県統括相談支援センター長として、其々の運営を行う。附属病院の各種委員会に参加する。	0.30	<p>がんセンター長として、がん診療連携病院の指定要件を満たすために、積極的に病院の各部署に働きかけを行い、意欲的に事業等を行った。結果として、厚労省から高く評価され、がん診療連携拠点病院機能強化事業費について全国397拠点病院中第2位の予算を得た。また、厚労省が委員会で報告した全国のがん拠点病院の好事例5例のうち、2例が選出された。</p> <p>沖縄県がん医療の質の評価センター長、沖縄県統括相談支援センター長として、沖縄県からの委託事業を成功させた。</p> <p>附属病院の種々の委員会に参加した。</p>	
進路指導	0.10	2年次12名の指導教官として、学校生活上の問題も含めて、進路指導に当たる。	0.05	<p>学部学生の生活指導・進路指導を行った。また、保護者への電話相談も行った。</p>	
診療	0.10	外来診療を週1回行う。がん診療に関するセカンドオピニオンに対応する。がん診療に関して地域連携クリティカルパスの作成と改定を行う。	0.10	<p>内科外来診療を週1回行い、他科からの紹介に積極的に対応した。</p> <p>がん診療に関するセカンドオピニオンを3症例行った。</p> <p>がん診療に関する地域連携クリティカルパス(胃がん、大腸がん、肝がん、乳がん、肺がん等)を、取りまとめ役として県内の主要病院の現場の責任者と作成・改定を行い、学内に周知した。</p>	
計	1.00	・ウエイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	<p>・ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</p>	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。			<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)											
名 前		新里 朋子		所 属		第3内科, 遠隔画像診断センター		職 名		特命助教	
領域		平成25年度 年度目標設定				業務 ウェイト比 (実績)		平成25年度 年度末自己点検結果			
教育		0.15	・研修医がトレッドミル負荷試験および心肺運動負荷試験の方法, 評価判定を習得できるよう指導する.				0.20	・毎週トレッドミル検査, 心肺運動負荷試験に携わり, 研修医や実習生に指導を行った.			
研究		0.20	・ヘパリンの血管内皮機能に与える影響について研究し, 学会発表する.				0.05	・症例数を増やすようにしているが, 学会発表には至らなかった.			
社会貢献		0.10	・心臓リハビリテーションにより, 循環器疾患患者のADL/QOLの改善・維持向上および再発予防に取り組む.				0.10	・内科および心臓血管外科に入院している循環器疾患患者や循環器内科外来に通院している患者に対し, 心臓リハビリテーションを行い, チームで運動療法・教育を行っている. また, 市民公開講座の開催にも協力し, AED講習指導を行った.			
管理運営		0.20	・心臓リハビリテーション部門の多職種連携を推進する.				0.20	・月2, 3回の心不全カンファレンスを多職種で開催し, 患者さんの情報共有, 再発防止にむけた取り組みを行った.			
進路指導		0.05	・後輩医師(特に女性)のキャリア習得・進路についてアドバイスする.				0.10	・自身の経験などを踏まえたアドバイスを行った.			
診療		0.30	・循環器患者に心臓リハビリテーションを行い, 患者のQOL/ADLの改善に取り組む.				0.35	・心臓血管外科患者に対しては術前から疾患・患者背景などの情報収集にあたり, 術後は社会復帰をみすえ心臓リハビリテーションを行った. 外来においては心肺運動負荷試験での評価を踏まえた運動処方も行った.			
計		1.00	・ウェイト比が1.00となるよう, 記載してください。 ・記載量に応じて, 枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は, 「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。				1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう, 記載してください。			

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		有賀 拓郎	所 属	放射線科	職 名	特命助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果	
教育	0.10	<ul style="list-style-type: none"> 放射線治療の重要性の教育。 放射線治療の適応の教育。 		0.10	実習の学生より、放射線治療に関して理解が深まったとの発言が多く、一定の目標を達していると考えられる。	
研究	0.20	<ul style="list-style-type: none"> 早期子宮頸癌に対する放射線治療の全国集計結果の論文化。 進行食道癌の根治的放射線治療成績の論文化。 前立腺癌全骨盤照射および小線源治療の論文化。 		0.30	子宮頸癌に関しては論文作成をほぼ終えている。食道に関しては現在執筆中。	
社会貢献	0.20	<ul style="list-style-type: none"> 社会に提供可能なサービスの拡大。 市民公開講座などを通して放射線治療の啓蒙。 		0.10	他院医師とのカンファレンス開催などを行っており、一定の成果を上げていると考えられるが、来年度以降も引き続き努力する。	
管理運営	0.20	<ul style="list-style-type: none"> 遠隔画像診断事業の円滑な運営。 放射線治療のQA/QCの安定化。 		0.20	高精度放射線治療に関して、円滑な運用が可能になった。今後はさらなる適応拡大と業務の迅速化を目標とする。	
進路指導	0.10	<ul style="list-style-type: none"> 学生、研修医に対する放射線治療の啓蒙。 		0.10	放射線科を進路の選択肢としてあげる学生の増加もあり、一定の成果を得ていると考えられる。	
診療	0.20	<ul style="list-style-type: none"> 当院での高精度放射線治療の拡大。 小線源治療(子宮頸癌 前立腺癌)の標準化。 放射線治療の適応増加。 		0.20	高精度放射線治療に関しては標準化が進んでいる。小線源治療に関しては標準化がまだ十分ではない。適応疾患に関しては増加している。	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		百名 伸之		所 属 骨髄移植センター	
職 名		特命准教授			
領域	業務 ウエイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウエイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果
教育	0.10	医学部学生に対し、講義、ポリクリ指導を行う。特にポリクリではチュートリアル方式を採用し、学生自ら問題を見つけ出し、それに自由な発想のもとに全員で回答を創造する形式をとる。教官としては必要な医学的情報を提示し、考える力、論理的思考、斬新な発想を促す役割を担う。研修医には臨床の実践を指導する。		0.10	目標通り指導ができた。
研究	0.30	多施設共同臨床研究により小児がんの標準的治療の確立を目指す。難治性疾患、慢性GVHDについては臨床試験により新規治療開発を目指す。基礎研究として移植後の免疫系再構築の分子学的解析を行う。原著論文は2編執筆する。		0.30	臨床研究は予定通り遂行している。基礎研究は現在準備中である。原著論文1編、症例報告1編を執筆した。
社会貢献	0.10	骨髄バンク認定施設として、ボランティアドナーの骨髄採取を行う。また、調整医師として、ドナー候補への骨髄採取説明を行う。社会の啓蒙活動として、一般市民への講演を行う。小児がん経験者の会をサポートする。		0.10	骨髄バンク関連活動は継続して行っている。講演活動は第36回日本造血細胞移植学会で市民講座を担当した。小児がん経験者の会に定期的に参加している。
管理運営	0.10	骨髄移植センターの人事を担当する。また、センターの運営に必要な物品購入を行う。		0.10	骨髄移植センターの概算要求作成、人事移動を行った。必要物品の購入を行った。
進路指導	0.10	医学部学生に対し、卒後の臨床研修方法、将来の専門科選択について現状を説明しつつ指導する。また指導教員として学生の生活全般についてのサポートを行う。		0.10	目標通りの指導を行った。また、初期研修応募の推薦状を作成した。
診療	0.30	骨髄移植センターとして、造血細胞移植を積極的に行う。特に小児は県内で唯一の施設ため、県内での移植医療の完結を目指す。小児がん一般については、沖縄県立南部医療センター・こども医療センターと共同で診療を行う。		0.30	今年度は8例の移植を行い、県外紹介はなかった。こども医療センターとの連携も十分であった。
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウエイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	・ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)								
名 前		仲地佐和子	所 属		医学部付属病院骨髄移植センター	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果			
教育	0.30	(1)ポリクリ学生、研修医への教育、レクチャー (2)M4学生への系統講義(白血病と類縁疾患、凝固系と線用系、血友病 年3コマ)		0.30	(1)M4系統講義は十分行えた。(2)ポリクリ実習生へ毎日朝夕の回診を行い、適宜レクチャーを行った。2012年4月～2013年1月までにのべ50人の医学生が血液内科を選択肢し、ポリクリ実習を行えた。(3)血液学会の教育認定施設であり、指導医取得のため論文執筆中である。			
研究	0.15	(1)ATL症例リサーチ:症例報告発表 (2)日本臨床腫瘍研究グループ(JCOG)の多施設共同研究の施設参加		0.10	(1)外来、入院患者におけるATL患者へ研究内容の説明を行い、同意書を取得し検体を回収した。過去の移植成績データを解析し、発表予定である。(2)JCOGの審査に通り、認定施設となった。また、十数回の県内外の研究会・講演会に参加・実施できた。			
社会貢献	0.10	(1)製薬会社の勉強会、座談会(年2-4回)(2)県内血液内科関連施設との協力関係の構築(BCR-ABL変異解析、CD34測定)		0.10	(1)製薬会社主催の講演会などの講演、座長などを勤めた。(2)県内の慢性骨髄性白血病に対してBCR-ABL変異解析(保険外、臨床研究)のサポートを行え、社会貢献ができた。			
管理運営	0.05	(1)9西病棟の無菌室の運用にかかる安全管理 (2)化学療法を行う際の抗がん剤の取り扱いに関する安全管理		0.10	(1)骨髄採取術のマニュアルを改訂した。(2)9階西病棟の無菌室の稼働は重大な問題もなく、稼働している。(3)抗がん剤の取り扱いに関して必ず安全キャビネットを使用する旨、繰り返し指導した。			
進路指導	0.05	血液内科を希望する研修医、学生に大しての研修先などの進路指導		0.05	血液内科を希望している研修医に対して面談を数回行い、研修内容や適切な研修先、専門医制度に関して詳しく説明した。初期研修終了後、当科にて後期研修予定である。			
診療活動	0.35	(1)血液内科に関する診療:外来診療、入院診療、セカンドオピニオン (2)骨髄バンクドナーの骨髄採取(年間10-12回)		0.35	(1)血液内科の外来診療は大きな問題もなく経過した。のべ約60人強の血液疾患患者の入院診療を行った。うち、病理解剖を2件実施した。(2)骨髄バンクドナーの骨髄採取は小児血液医と協力し、これまでの月1回から月2回のペースで円滑に行えるようになった。			
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		小宮 一郎	所 属		医学部附属病院 地域医療システム学
			職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果
教育	0.20	①初期臨床研修センター副センター長として研修医の臨床研修の資質向上に貢献する。②教務委員会副委員長として委員会活動に積極的に参加する。医学教育カリキュラムの改編作業の中心として、臨床医学及び臨床実習の改革を行う。③地域枠学生の指導・教育に携わる。		0.20	①初期臨床研修センター副センター長として研修医の臨床研修の資質向上に貢献した。②教務委員会副委員長として委員会活動に積極的に参加した。医学教育カリキュラムの改編作業の中心として、臨床医学及び臨床実習の改革を行った。③地域医療枠学生の指導・教育に携わり、県外地域医療にも同行し、25年2月下旬には長野県佐久・大町実習を企画立案した。県内の地域医療実習として、学生主導のセミナー開催に協力し、伊平屋島での実習にも参加した。
研究	0.20	①沖縄県の地域医療の在り方を研究する。①新たな医学教育の在り方を研究し、その結果を医学教育学会等で報告する。③糖尿病の診療を通じて、沖縄の糖尿病患者の予後改善を目指した臨床研究を行う。④脂質代謝異常と癌の疫学的研究を行い、癌の早期発見に関連する研究を行う。⑤尿酸排泄と糖尿病との関連性を研究する。		0.20	①沖縄県の地域医療の在り方を研究した。①新たな医学教育の在り方を研究し、平成24年7月に横浜での医学教育学会で発表した。③糖尿病の診療を通じて、沖縄の糖尿病患者の予後改善を目指した臨床研究を行い、県内外で成果を講演した。特に高脂質・高蛋白質食摂取での血糖上昇について持続血糖測定装置を用いた研究を行い新たな知見を得、平成26年5月の学会で発表予定である。④脂質代謝異常と癌の疫学的研究を行い、癌の早期発見に関連する研究を行い、平成25年に総説論文を執筆し、原著論文として投稿予定。
社会貢献	0.20	①沖縄県の地域医療再生計画に参画する。②北部・離島地域の巡回診療を通じて、地域医療に貢献する。③県内の市町村の健康教室(金武町)の講師を務め、県民の健康増進に貢献する。④CBT・OSCEの外部評価者として、我が国の医学部 CBT問題の改良に取り組む。		0.20	①沖縄県の地域医療再生計画の会議に参加した。②残念ながら北部・離島地域の巡回回診の実施には至らなかった。③県内の市町村の健康教室(金武町)の講師を務め、県民の健康増進に貢献した。平成26年1月には県看護協会主催の6時間の医学講演を行い、宮古や北部にも配信した。④今年度はOSCEの外部評価委員としての活動はなかったが、本学に来られたCBT外部評価員と意見交換は行えた。
管理運営	0.20	①初期臨床研修センター副センター長、教務委員会副委員長、専門研修センター委員、地域医療部運営委員として活動に積極的に参加し、初期研修医・専門研修医の資質向上に関与する。		0.20	①初期臨床研修センター副センター長、教務委員会副委員長、専門研修センター委員、地域医療部運営委員として活動に積極的に参加し、初期研修医・専門研修医の資質向上に努力した。
進路指導	0.20	①医師国家試験対策委員長として、医学部学生の合格率向上に努力する。成績下位の者に対する面接や集団指導を行い、国試の合格率を上げる努力を行うとともに、現状の分析結果を学会等に発表する。②既卒の国試浪人を対象とした個人指導を行う。		0.20	①医師国家試験対策委員長として、医学部学生の合格率向上に努力した。成績下位者に対する面接や集団指導を行った。②さらに平成25年11月には県外講師による3日間の集中補講を企画した。③既卒の国試浪人を対象とした個人指導を平成25年4月から11月まで行い、さらに卒業延期となった学生を対象に平成24年12月から国家試験向けの個人授業を開始し平成25年11月まで継続した。
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	